

学生の確保の見通し等を記載した書類

目次

1	学生確保の見通し及び申請者としての取組状況.....	2
(1)	本県の健康を取り巻く状況.....	2
ア	定員充足の見込み	2
イ	定員充足の根拠となる客観的なデータの概要	2
(ア)	近隣都県の公衆衛生大学院の入学者等の状況	2
(イ)	入学意向（需要）調査の結果	2
(ウ)	採用意向（人材需要）調査の結果.....	5
(エ)	養成する人材像との整合	6
ウ	学生納付金の設定の考え方	7
(2)	学生確保に向けた具体的な取組状況	7
ア	設置団体の職員への入学勧奨	7
イ	大学・病院・行政機関・各種団体との連携	8
ウ	製薬会社等との連携.....	9
エ	アンケート調査実施時における周知.....	9
オ	シンポジウムの開催.....	9
カ	その他.....	9
2	人材需要の動向等社会の要請.....	9
(1)	人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）	9
(2)	(1)が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠	10
ア	政府・公的機関等による報告書	10
イ	採用意向（人材需要）調査の結果	11

1 学生確保の見通し及び申請者としての取組状況

(1) 本県の健康を取り巻く状況

ア 定員充足の見込み

本学では、演習やフィールド実習などを始めとした実践的な教育・研究を中心に教育を行うことから、必然的に少人数での教育が主となるため、教育の質を担保することも考慮し、定員については、入学定員 10 人、収容定員 20 人とする。

この定員設定については、大学院大学の設置に向けた、大学教育現場や臨床現場における有識者からなる「健康寿命延伸のための『社会健康医学』推進委員会」での議論や、近隣都県の公衆衛生大学院の入学者等の状況、これまで実施した入学意向及び採用意向の調査結果などを踏まえて決定しており、定員充足には問題がないものと考えている。

イ 定員充足の根拠となる客観的なデータの概要

(ア) 近隣都県の公衆衛生大学院の入学者等の状況

令和元年 10 月時点において、近隣都県（東京都、神奈川県及び愛知県）では、公衆衛生大学院修士課程（専門職学位課程を含む）が国立大学 3 校、公立大学 1 校、私立大学 3 校で設置されている。

各大学院のホームページ等により、過去 3 年の志願者数及び入学者数を調査した結果、直近の平成 31 年度（令和元年度）では、ほとんどの大学院で定員が充足されており、入学希望の全てを満たしているわけではないこと、また、後述のとおり、現時点で中部ブロック内の公衆衛生大学院が、名古屋大学大学院公衆衛生コースのみであることを踏まえると、本学の定員充足にも問題がないものと考えている。

【別添資料 1】近隣都県の公衆衛生大学院の入学者等の状況

(イ) 入学意向（需要）調査の結果

本学の設置に当たっての基礎資料として、県内の病院、大学、介護事業所、行政機関、企業の健康保険組合及び健診機関の協力をいただき、医師や看護師などの医療専門職、保健師や栄養士などの健康づくり実務者などを対象に、無記名による入学意向（需要）調査を、平成 30 年 8 月及び令和元年 7 月の 2 回実施した。

その結果、本学に入学したいと回答した者が、2 回の調査とも入学定員である 10 人を超えていた。また、2 回の調査のうち、特に令和元年度の調査は、直近の入学意向を確認す

ることを目的として実施しており、調査票及び概要資料において令和3年（2021年）4月に開学を予定していることを明示して調査を行っている。その結果、14人（3.6%）から「入学したい」との回答があり、本学の開学時点の定員確保が可能であることを確認している。

また、同調査において「入学を検討したい」とした者も79人（20.6%）おり、これらは令和3年4月の開学時点ではないにしろ、本学への入学について強い興味を持っている者であり、中長期的な潜在的入学希望者と言える。

さらに、開学年を明示せずに行った、平成30年度の入学意向（需要）調査において、静岡県が設置を検討している社会健康医学系大学院大学（仮称）に興味があり、かつ、入学意向について回答のあった472人のうち、「入学したい」とした者が47人（10.0%）、「機会があれば入学したい」とした者が189人（40.0%）、「将来必要を感じたら入学を考える」としたものが179人（37.9%）、これらを合わせた、何らかの入学意向がある者は415人（87.9%）を数えている。

これらの者も、今後本学が実績を積み重ね、実績を地域に還元することで、入学について検討することが考えられ、潜在的な入学希望者として、中長期的な確保につながる一つの根拠と考えている。

特に、「入学したい」とした47人は、その中でも入学意向の高い者であり、仮に、令和元年度の調査で「入学したい」とした14人と全て重複したとしても、少なくとも33人は、職場環境等様々な要因から令和3年4月には入学できないが、入学に向けた環境整備を進めることにより、それ以降に入学することが強く期待される。

以上から、中長期的な潜在入学希望者も一定程度存在すると言える。

なお、2回の調査結果の内容は次のとおりである。

a 大学院大学の設置検討に向けた需要調査の結果（平成30年8月実施）

「社会健康医学大学院大学の設置に係る基本構想」（平成31年3月、静岡県）の策定に当たっての基礎資料として、需要調査を平成30年8月に以下のとおり実施した。

①調査対象（計1,610人）

- ・ 県内の医療機関に勤務する医師、看護師、薬剤師等
- ・ 県内の介護事業所に勤務する看護師、栄養士、介護福祉士等
- ・ 県内大学院の教員、院生
- ・ 市町で健康増進を担当する保健師、栄養士

- ・ 県内企業の健康保険組合や健診機関における健診データ分析担当者や保健指導担当者等

②調査結果

<回答者>

アンケート対象者1,610人中、以下のとおり875人から回答があった(回収率54.3%)。

区分	医師	保健師	看護師・助産師	薬剤師	栄養士	その他	計
回答者数	290	140	92	80	65	208	875
(割合)	(33%)	(16%)	(11%)	(9%)	(7%)	(24%)	(100%)

※その他は臨床検査技師、大学教員、診療放射線技師など

<興味の有無>

回答者のうち、静岡県が設置を検討している社会健康医学系大学院大学（仮称）に興味がある者は479人（54.7%）であった。

区分	大変興味がある	多少興味がある	あまり興味がない	全く興味、関心がない	わからない	計
回答者数	101	378	248	92	56	875
(割合)	(12%)	(43%)	(28%)	(11%)	(6%)	(100%)

<入学意向>

「大変興味がある」又は「多少興味がある」と回答した者（有効数472人）のうち、何らかの入学意向がある者は415人（87.9%）であった。

区分	入学したい	機会があれば入学したい	将来必要を感じたら入学を考える	入学を希望しない	わからない	計
回答者数	47	189	179	25	32	472
(割合)	(10%)	(40%)	(38%)	(5%)	(7%)	(100%)

【別添資料2】大学院大学の設置検討に向けた需要調査

b 大学院大学への入学意向に関するアンケート調査の結果（令和元年7月実施）

「社会健康医学大学院大学の設置に係る基本構想」の策定を踏まえ、直近の入学意向を確認するため、調査票及び概要資料において令和3年（2021年）4月に開学を予定していることを明示した、入学意向アンケート調査を令和元年7月に以下のとおり実施した。

①調査対象（計1,925人）

- ・ 県内の医療機関に勤務する医師、看護師、薬剤師等

- ・ 県内の介護事業所に勤務する看護師、栄養士、介護福祉士等
- ・ 県内大学院の教員、院生
- ・ 市町で健康増進を担当する保健師、栄養士
- ・ 県内企業の健康保険組合や健診機関における健診データ分析担当者や保健指導担当者等

②調査結果 (注) 割合については四捨五入の関係で合計が 100%とまらない場合がある。

<回答者>

アンケート対象者 1,925 人中、以下のとおり 717 人から回答があった(回収率 37.2%)。

区分	医師	保健師	看護師・助産師	薬剤師	栄養士	その他	計
回答者数	199	106	103	77	54	178	717
(割合)	(27.8%)	(14.8%)	(14.4%)	(10.7%)	(7.5%)	(24.8%)	(100%)

※その他は診療放射線技師、介護福祉士、臨床検査技師など

<興味の有無>

回答者のうち、「将来的にも大学院(修士課程)には興味がない」と回答した 173 人と「無回答」6 人を除く 538 人を対象に調査したところ、静岡社会健康医学系大学院大学(仮称)への入学について興味がある者は 384 人(71.4%)であった。

区分	大変興味がある	多少興味がある	興味・関心がない	無回答	計
回答者数	55	329	151	3	538
(割合)	(10.2%)	(61.2%)	(28.1%)	(0.6%)	(100%)

<入学意向>

「大変興味がある」又は「多少興味がある」と回答した者(有効数 384 人)のうち、入学意向を示した者は 93 人(24.2%)であった。

区分	入学したい	入学を検討したい	わからない	入学を希望しない	無回答	計
回答者数	14	79	229	59	3	384
(割合)	(3.6%)	(20.6%)	(59.6%)	(15.4%)	(0.8%)	(100%)

【別添資料 3】入学意向に関するアンケート調査報告

(ウ) 採用意向(人材需要)調査の結果

2(2)イで詳述するが、県内の病院や行政機関等の採用担当者を対象に、修了者の採

用意向や自団体職員の入学勧奨意向について尋ねた、令和元年度の採用意向（人材需要）調査において、「職員が（仮称）静岡社会健康医学大学院大学で学びたいと希望した場合の入学奨励」について、「積極的に勧める」が3団体（4.8%）、「勧める」が14団体（22.2%）、「希望する職員によっては勧める」が24団体（38.1%）これらを合わせた、入学を何らかの形で「勧める」とした団体が41団体（65.1%）に上った。また、「職員の学位取得等支援制度」を有するか、制度はないがケースバイケースで判断して支援しているとした団体が51団体（80.9%）に上った。

なかでも、入学を何らかの形で「勧める」とした41団体のうち17団体が市町等行政機関であり、そのうち12団体（7割）が、大学院大学の人材や研究分野が当該行政機関若しくは社会・地域において必要であると回答しており、市町の健康行政に関わる実務者にとって本学で学ぶことは、業務上も極めて有益であることから、既に複数の市町と、職員が入学しやすい諸条件についての意見交換を始めている。これら市町を含めた各団体に対して、職員へ入学を勧奨するよう積極的に求めていく。

したがって、中長期的な学生確保に向け、自団体職員を送り出す立場の県内病院や行政機関等の後押しも期待できるといえる。

（エ）養成する人材像との整合

前述のとおり、令和3年（2021年）4月に開学を予定していることを明示して行った、令和元年度の入学意向（需要）調査において、「入学したい」と回答した者は14人（3.6%）で、これらの者の職種内訳は、医師4、保健師4、看護師・助産師2、薬剤師、栄養士、診療放射線技師、作業療法士各1であった。

また、開学年を明示せずに行った、平成30年度の入学意向（需要）調査において、「入学したい」とした者は47人（10.0%）で、職種内訳は、医師12、保健師7、看護師・助産師5、薬剤師4、診療放射線技師4、栄養士3、臨床検査技師3、理学療法士2、大学教員2、臨床工学技士、作業療法士、社会福祉士各1、その他2であった。

本学は、養成する人材像として、地域医療のリーダーとなり、県民により身近な場所で科学的な知見に基づくデータ分析や健康増進施策、疾病予防対策などを担う医師や看護師などの「高度医療専門職」、各地域の現場で健康増進施策を担う保健師や管理栄養士などの「健康づくり実務者」の2つを掲げている。

入学者選抜試験では、養成する人材像ごとに合否判定区分は設けていないが、概ね高度

医療専門職を6～7名、健康づくり実務者を3～4名と見込んでおり、これは前述の令和元年度及び平成30年度の入学意向（需要）調査の職種内訳（※）割合と概ね一致することから、養成する人材像に合致する学生が確保できると考えている。

（※）1 令和元年度調査：14人

高度医療専門職：9人（64.3%）

（医師4、看護師・助産師2、薬剤師、診療放射線技師、作業療法士各1）

健康づくり実務者：5人（35.7%）

（保健師4、栄養士1）

2 平成30年度調査：43人（大学教員及びその他各2を除く）

高度医療専門職：32人（74.4%）

（医師12、看護師・助産師5、薬剤師4、診療放射線技師4、臨床検査技師3、理学療法士2、臨床工学技士、作業療法士各1）

健康づくり実務者：11人（25.6%）

（保健師7、栄養士3、社会福祉士1）

ウ 学生納付金の設定の考え方

近隣都県における公衆衛生大学院の納付金額を考慮しつつ、同じ静岡県立の大学院である、静岡県立大学大学院及び静岡文化芸術大学大学院の納付金額と同額に設定する。

入学金：県内の者141,000円、県外の者：366,600円

授業料：535,800円/年

【別添資料4】近隣都県の公衆衛生大学院の学生納付金

（2）学生確保に向けた具体的な取組状況

本学は、既に医療や健康づくりの第一線で活躍している者が、働きながら専門的知識を学び、ステップアップして現場に戻っていくことを主な想定としている。

ア 設置団体の職員への入学勧奨

設置団体である静岡県では、広い視野と先見性、創造性を備えた職員を養成するため、職員のキャリア形成希望も踏まえ、国内外の大学や、国・民間の研究機関等へ職員を派遣

する派遣研修制度を設けており、例えば、政策研究大学院大学（修士課程）へは毎年度1名を継続的に派遣している。

開学に当たり、設置団体として、当該派遣研修制度の研修先として本学を組み入れることを予定しており、看護師や薬剤師等の資格を有する職員や、保健師として地域の健康づくりに携わっている職員を中心に、本学へ積極的かつ継続的に派遣する。

イ 大学・病院・行政機関・各種団体との連携

校舎予定地に隣接するとともに、静岡県の委託事業として、リサーチサポートセンターにおいて社会健康医学研究を進めている県立総合病院を運営する、地方独立行政法人静岡県立病院機構は、医学研究のより一層の連携を図ることなどを目的に、慶應義塾大学医学部・同大学院医学研究科と連携協定を締結し、職員が働きながら研究や学位取得などが可能となる仕組みを構築している。

開学後は本学も、同様の連携協定を静岡県立病院機構と締結することを予定しており、地理的近接性やこれまでの社会健康医学研究を通じた繋がりなどを最大限に活かし、学生の継続的な確保に努めていく。

また同様に、学生の出身元となる、大学・病院・行政機関・各種団体に対しても、定期的に職員を送り出してもらえるような仕組みなど、学生の継続的な確保と修学後の活躍の場の確保等の包括的な協力関係を構築するため、以下のとおり各団体と協定を締結するなどの連携方策を検討している。

なお、入学者選抜において、被推薦者（受験者）が所属する又は勤務する団体等（病院、地方自治体等）からの推薦状があるものについては、一般選抜とは別に、書類審査（小論文）及び面接試験による選抜（団体等推薦入試）を実施する。

<連携検討団体>

[病院] 県立病院、地域医療支援病院、大学附属病院、その他学長が特に認める病院

（小規模病院・診療所等を除く）

[地方自治体] 県、県内市町

[健康保険者] 全国健康保険協会県支部、県国民健康保険団体連合会（個別の組合を除く）

[その他] 県病院協会、県医師会、県歯科医師会、県看護協会、県薬剤師会、健康保険組合連合会静岡連合会

ウ 製薬会社等との連携

県内の製薬会社と意見交換を行ったところ、「製薬会社の中においても、社会健康医学分野で様々な角度から高度な専門性を身に付け、幅広い領域での健康課題に取り組む人材が必要になっており、薬剤師資格を有する社員が学び、MPH を取得し、それを活かすことで社会の健康寿命延伸に寄与すべく、勤務上の格別の配慮をするなどの対応の上、長期的かつ定期的に入学者勧奨を行いたい。」との申し出があったところであり、製薬会社等が自社の社員の人材育成を行う上で、本学に求める期待は大きいものと考えられる。

そのため、製薬会社を始めとした県内外の保健・医療関連企業を積極的に訪問し、本学の周知や受験者の掘り起こしを行うことで、学生の継続的な確保につなげていく。

エ アンケート調査実施時における周知

前述の入学意向アンケート調査用紙の配布においては、入学対象者の現在の勤務先である、県内の病院、大学、介護事業所、行政機関、企業の健康保険組合及び健診機関の協力をいただき、各団体の担当者経由で渡していただくことで、単に入学対象者へ郵送する方法に比べ、より認知度が高まっているものと考えている。

オ シンポジウムの開催

静岡県では、社会健康医学に関連したシンポジウムを平成 28 年度から年 2 回（10 月、3 月頃）開催しているが、入学対象者である、県内の医療機関に勤務する医師・看護師・薬剤師や、市町で健康増進を担当する保健師、栄養士などを中心に、多数の方々に参加していただいているところであり、折に触れて、設置の構想等を説明してきたところである。
今後もシンポジウムの開催に合わせ、本学の P R を行っていく。

カ その他

上記のほか、入学者の確保に向け、入学説明会を始め、今後作成する本学ホームページ、県広報誌や県ホームページ、ソーシャル・ネットワーキング・サービス（SNS）など、あらゆる広報手段を活用して、本学の P R に努めていく。

2 人材需要の動向等社会の要請

(1) 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）

高齢化がさらに進むと予測されている中、県民一人ひとりが心身ともに健康で、いきいきと社会生活を送るためには、健康長寿を支える要因に関して、十分な科学的分析が必要である。

このため、本学では、社会健康医学の研究を長期かつ継続的に推進し、研究の成果を県民に分かりやすい形で還元するため、社会健康医学研究や健康寿命の延伸に向けた取組の担い手となる高度の専門的人材を以下のとおり育成する。

<保健・医療・福祉領域の高度医療専門職>

地域医療のリーダーとなり、県民により身近な場所で科学的な知見に基づくデータ分析や健康増進施策、疾病予防対策などを担う人材

<健康づくり実務者>

社会健康医学の研究で得られたデータや、科学的知見に基づく健康増進活動や疾病予防対策について、県民の生活に取り込むことができる能力を身につけ、それを現場で発揮できる人材

(2) (1)が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠

ア 政府・公的機関等による報告書

(公衆衛生分野における高度専門職業人育成の必要性)

設置の趣旨等を記載した書類でも述べたとおり、例えば、平成 17 年に答申された中央教育審議会「新時代の大学院教育」においては、公衆衛生分野の大学院について、「医療疫学、医療経済、予防医療、国際保健、病院管理等の幅広い分野を含む公衆衛生分野の大学院については、高齢化等の進展に対応して、また、医学、歯学、薬学等のヒトを対象とした臨床研究・疫学研究の推進を図るためにも、公衆衛生分野における高度専門職業人の育成が課題となっている。このため、欧米の状況も踏まえ、2年制の専門職大学院として、大学院の整備を進めていくことが必要」であるとの提言がなされている（中央教育審議会『新時代の大学院教育－国際的に魅力ある大学院教育の構築に向けて－答申』, 2005, p89）。

(公衆衛生大学院の全国各地域ごとの整備の要請)

平成 23 年の日本学術会議基礎医学委員会・健康・生活科学委員会合同パブリックヘルス科学分科会において「公衆衛生は実践学問であり、その専門家は地域ごと、職域ごとに必要とされる。そのため、公衆衛生大学院は全国のいわゆる 8 地方ブロック（北海道、東北、関東、中部、近畿、中国、四国、九州・沖縄）に少なくとも 1 か所は整備されることが望

ましい」と述べられている（日本学術会議『わが国の公衆衛生向上に向けた公衆衛生大学院の活用と機能強化』，2011，p4）。

静岡県が所在する中部ブロック内では、名古屋大学大学院医学系研究科医科学専攻内に、平成 29 年度から公衆衛生コースが設置されているものの、入学定員は専攻の合計で 20 人である。これは、8 大学院（入学定員計 180 人超）が設置されている関東ブロックや、ともに 2 大学院（同 50 人超）が設置されている近畿ブロック及び九州・沖縄ブロックと比べると、人口規模の大きな中部ブロックで、公衆衛生大学院が十分に整備されているとは言い難く、本学の設置は中部地域全体にとって意義があるといえる。

（県内における社会健康医学大学院大学の設置の要請）

京都大学高等研究院副院長・特別教授の本庶佑氏を委員長とする、静岡県「健康寿命延伸のための『社会健康医学』推進委員会」から、平成 31 年 1 月、「社会健康医学の研究成果を広く県民へ還元するためには、科学的な視点を持つ地域のリーダーとなる人材育成が急務であることから、速やかに大学院大学を設置すべき」等を内容とする意見書の具申を受け、静岡県ではその具申を踏まえ、「社会健康医学大学院大学の設置に係る基本構想」を平成 31 年 3 月に策定し、社会健康医学大学院大学の設置に向け準備を進めているところである。

以上から、我々が直面している様々な健康問題や、保険・医療・福祉制度の諸課題への対応のため、高度な公衆衛生の専門家養成が求められており、公衆衛生大学院の設置、特に、中部ブロック内である静岡県での社会健康医学大学院大学の設置は、社会的、地域的な人材需要の要請にかなうものといえる。

イ 採用意向（人材需要）調査の結果

本学では、既に医療や健康づくりの第一線で活躍している方が、退職せずに働きながら専門的知識を学び、ステップアップして現場に戻っていくことが可能な教育カリキュラムとなっているため、そもそも卒業後の就業の場が確保されている入学者が多いことを想定しているが、1（1）イ（イ）の入学意向（需要）調査に併せ、県内の病院等の採用担当者を対象に、修了者の採用意向や自団体職員の入学勧奨意向について、無記名による採用意向（人材需要）調査を、平成 30 年 8 月及び令和元年 7 月に実施した。

その結果、本学の修了生を「採用したい」又は「採用を検討したい（検討する）」と回答した団体が、2 回の調査でそれぞれ 57 団体、63 団体と、入学定員 10 人の約 6 倍に上って

いること、また、現職に従事しながら学ぶ社会人学生が多いことが想定されることから、本学の設置は地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであるとともに、修了生の進路は十分に確保できるものと考える。

2回の調査結果の内容は次のとおりである。

a 大学院大学の設置検討に向けた需要調査の結果（平成30年8月実施）

「社会健康医学大学院大学の設置に係る基本構想」（平成31年3月、静岡県）の策定に当たっての基礎資料として、採用需要調査を平成30年8月に以下のとおり実施した。

①調査対象（計125団体）

県内の病院、大学、介護事業所、行政機関、企業の健康保険組合及び健診機関の採用担当者

②調査結果

<回答団体>

アンケート対象125団体中、以下のとおり106団体から回答があった（回収率84.8%）。

区分	企業の健康 保険組合	行政機関	病院	健診機関	介護事業所	大学	計
回答者数 (割合)	35 (33%)	33 (31%)	19 (18%)	11 (10%)	5 (5%)	3 (3%)	106 (100%)

<大学院大学の必要性>

回答団体（有効数105団体）のうち、「高い必要性を感じる」又は「ある程度の必要性を感じる」と回答した団体は79団体（75.2%）であった。

区分	高い必要性 を感じる	ある程度の 必要性を感じる	あまり必要性を 感じない	必要性はない	わからない	計
回答者数 (割合)	12 (11%)	67 (64%)	12 (11%)	3 (3%)	11 (11%)	105 (100%)

<採用意思>

回答団体（有効数106団体）のうち、大学院大学の修了生を「採用したい」又は「採用を検討したい」と回答した団体は、57団体（53.8%）であった。

区分	採用したい	採用を検討したい	採用しない	わからない	計
回答者数 (割合)	14 (13%)	43 (40%)	7 (7%)	42 (40%)	106 (100%)

<職員を入学させる意思>

回答団体（有効数 106 団体）のうち、団体職員を大学院大学へ「入学させたい」又は「入学させることを検討したい」と回答した団体は、40 団体（37.7%）であった。

区分	入学させたい	入学させることを検討したい	あまり入学させたくない	入学を希望しない	わからない	計
回答者数 (割合)	6 (6%)	34 (32%)	6 (6%)	7 (6%)	53 (50%)	106 (100%)

【別添資料 2】 大学院大学の設置検討に向けた需要調査（平成 30 年 8 月実施）〔再掲〕

b 採用意向に関するアンケート調査の結果（令和元年 7 月実施）

「社会健康医学大学院大学の設置に係る基本構想」の策定を踏まえ、直近の採用意向を確認するため、採用意向アンケート調査を令和元年 7 月に以下のとおり実施した。

①調査対象（計 219 団体）

大学院大学の修了生の採用が見込まれる、病院、介護事業所等医療関係機関、行政機関、健康保険組合、大学、企業等の採用担当者

②調査結果（注）割合については四捨五入の関係で合計が 100%とならない場合がある。

<回答団体>

アンケート対象 219 団体中、以下のとおり 118 団体から回答があった（回収率 53.9%）。

区分	自治体・行政機関	企業の健康保険組合	病院	企業	医療・介護関係団体	介護サービス事業所	大学	その他	計
回答者数 (割合)	35 (29.7%)	27 (22.9%)	20 (16.9%)	20 (16.9%)	5 (4.2%)	4 (3.4%)	3 (2.5%)	4 (3.4%)	118 (100%)

<採用意向>

（仮称）静岡社会健康医学大学院大学に「あまり興味・関心はない」、「全く興味・関心がない」と回答した 38 団体を除く 80 団体のうち、大学院大学の修了生を「採用したい」又は「採用を検討する」との回答は、63 団体（78.8%）であった。

区分	採用したい	採用を検討する	採用は考えない	無回答	計
回答者数 (割合)	8 (10.0%)	55 (68.8%)	14 (17.5%)	3 (3.8%)	80 (100%)

<職員が修学を希望した場合の入学奨励>

肯定的な採用意向を示した 63 団体のうち、職員側から（仮称）静岡社会健康医学大

学院大学への修学申し入れがあった場合の入学奨励について、「積極的に勧める」、「勧める」及び「希望する職員によっては勧める」との回答は、41 団体（65.1%）であった。

区分	積極的に 勧める	勧める	希望する職員に よっては勧める	勧めない	わからない	その他・ 無回答	計
回答者数 (割合)	3 (4.8%)	14 (22.2%)	24 (38.1%)	2 (3.2%)	17 (27.0%)	3 (4.8%)	63 (100%)

【別添資料 5】採用意向に関するアンケート調査報告

学生の確保の見通し等を記載した書類 別添資料

目 次

- 1 近隣都県の公衆衛生大学院の入学者等の状況
- 2 大学院大学の設置検討に向けた需要調査
- 3 入学意向に関するアンケート調査報告
- 4 近隣都県の公衆衛生大学院の学生納付金
- 5 採用意向に関するアンケート調査報告

近隣都県の公衆衛生大学院の入学者等の状況

※各大学ホームページより静岡県まとめ(一部は聞き取りによる)

区分	大学院名	研究科	課程	専攻	コース等	入学定員	平成29年度			平成30年度			平成31年度		
							志願者	入学者	充足率	志願者	入学者	充足率	志願者	入学者	充足率
国立	東京大学大学院	医学系	専門職学位	公共健康医学	1年コース 2年コース	30	92	33	110.0%	104	31	103.3%	88	30	100.0%
	東京医科歯科大学大学院	医歯学総合 ※平成30年度開設	修士	医歯理工 保健学	グローバルヘル スリーダー養成	9	-	-	-	9	5	55.6%	12	8	88.9%
	名古屋大学大学院	医学系研究科	修士	医科学専攻	医科学 公衆衛生	20	40	24	120.0%	37	25	125.0%	40	21	105.0%
公立	神奈川県立保健 福祉大学大学院	ヘルスイノベー ション ※平成31年度開設	修士	ヘルスイノ ベーション	-	15	-	-	-	-	-	-	23	17	113.3%
私立	慶應義塾大学大学院	健康マネジメント (注)	修士	看護学	看護学	10									
				公衆衛生・ スポーツ健康 科学	公衆衛生学	30	65	30	75.0%	89	41	102.5%	85	41	102.5%
					医療マネジメント学 スポーツマネジメント学										
	帝京大学大学院	公衆衛生学	専門職学位	公衆衛生学	1年コース	10	15	13	130.0%	8	7	70.0%	14	12	120.0%
					2年コース	10	19	15	150.0%	9	8	80.0%	28	17	170.0%
聖路加国際大学 大学院	公衆衛生学	専門職学位	公衆衛生学	1年コース 2年コース 3年コース	25	41	35	140.0%	35	25	100.0%	38	32	128.0%	

(注)慶應義塾大学大学院は、4月入学者のみを記載し9月入学者を含んでいない。また、平成30年度より、看護・医療・スポーツマネジメント専攻の1専攻体制から、看護学専攻、公衆衛生・スポーツ健康科学専攻の2専攻体制に変更となったが、公表データの関係上、2専攻を合わせた健康マネジメント研究科の数値を記載している。

大学院大学の設置検討に向けた需要調査
(平成 30 年 8 月実施)

静岡県健康福祉部政策監

大学院大学の設置検討に向けた需要調査

1 調査目的

大学院大学の設置に向け、入学者の受け入れ、教育課程、学位の授与に関する方針等の検討を行う基礎資料とするために実施する。

2 調査対象

- 県内の医療機関に勤務する医師、看護師、薬剤師等
- 県内の介護事業所に勤務する看護師、栄養士、介護福祉士等
- 県内大学院の教員、院生
- 市町で健康増進を担当する保健師、栄養士
- 県内企業の健康保険組合や健診機関における健診データ分析担当者や保健指導担当者等

3 実施時期

平成30年8月 調査対象機関へ説明、調査票を送付
9月 集計、分析

4 調査項目

- 大学院大学への進学希望とその理由
- 学びたい教育内容、希望する授業形態
- 大学院大学修了生を採用する意思
- 大学院大学修了生に求める能力 など

5 調査結果の概要

(1) 進学意向調査

- 1,610人中、875人から回答あり（回収率54.3%）
- 大学院大学に興味がある、多少興味がある人は、479人（54.7%）
- 興味がある理由で最も多かったのは「専門知識を現場に生かしたい」
- 興味がある授業科目分野で最も多かったのは「医療統計学」
- 授業の履修に必要な配慮で最も多かったのは「講義のビデオ視聴」
- 大学院大学に入学したい、機会があれば入学したい、将来必要性を感じたら入学を考える人は、415人（87.9%）

(2) 人材需要調査

- 125団体中、106団体から回答あり（回収率84.8%）
- 大学院大学に高い必要性を感じる、ある程度の必要性を感じる団体は、79団体（75.2%）
- 大学院大学の修了生に期待する能力で最も多かったのは「医療・介護などのデータを分析できる能力」
- 大学院大学の修了生を採用したい、採用を検討したい団体は、57団体（53.8%）

需要調査の集計値（概要）

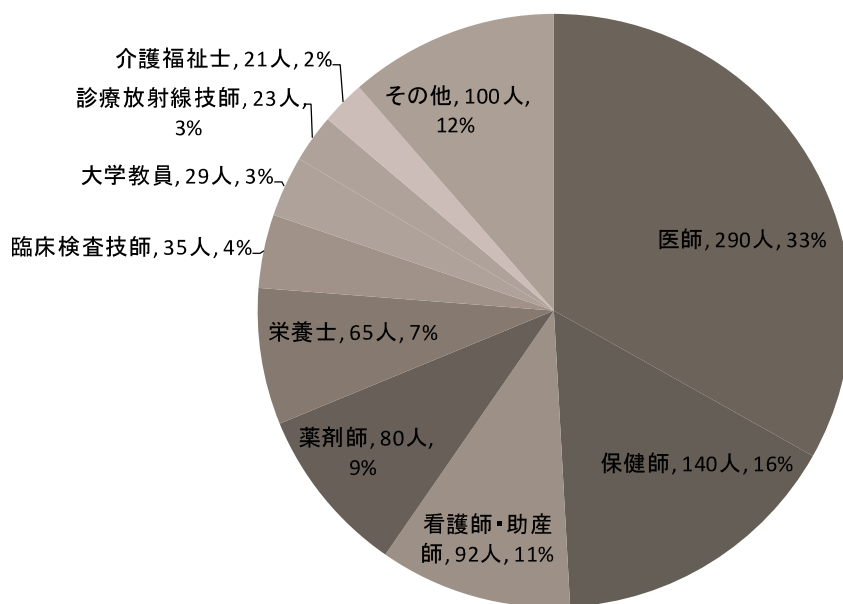
平成 30 年 9 月 28 日現在

1 進学意向調査

(1) 回答者（母数 1,610 人）

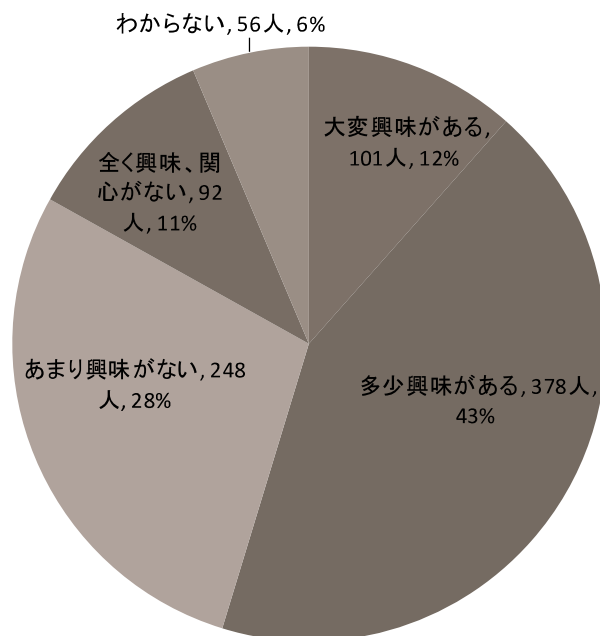
875 人（回収率 54.3%）

うち、医師 290 人、保健師 140 人、看護師・助産師 92 人

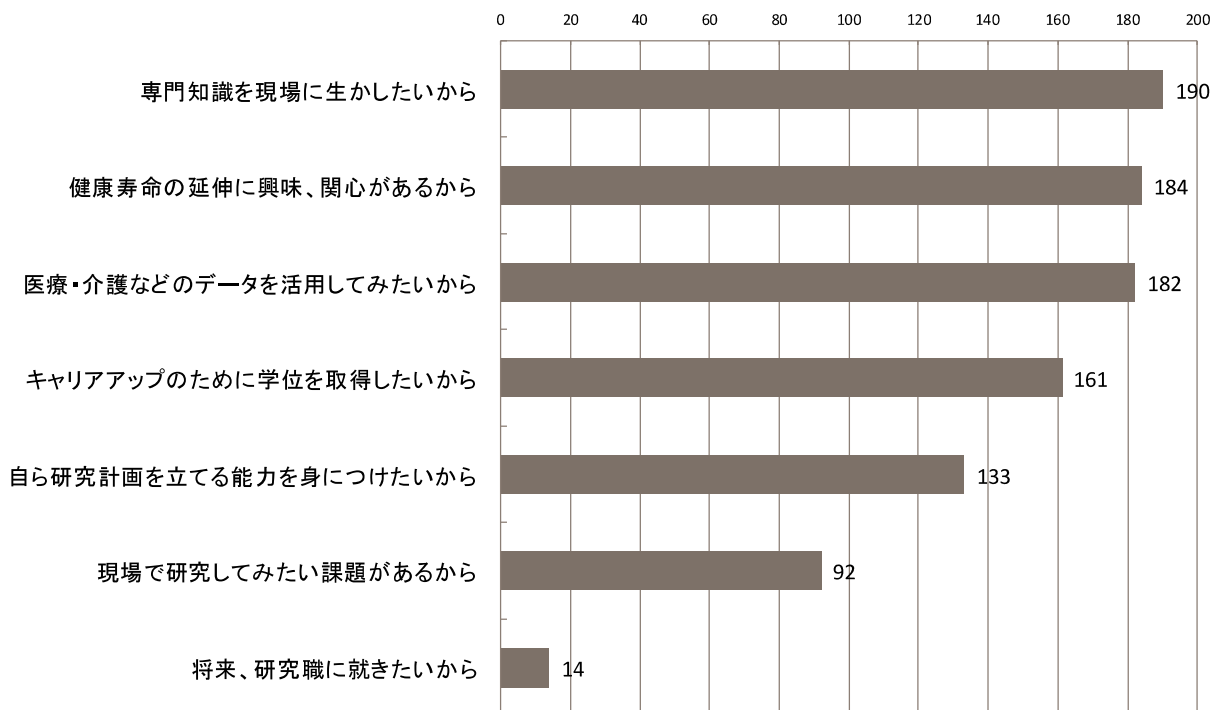


(2) 大学院大学への興味の有無（有効数 875 人）

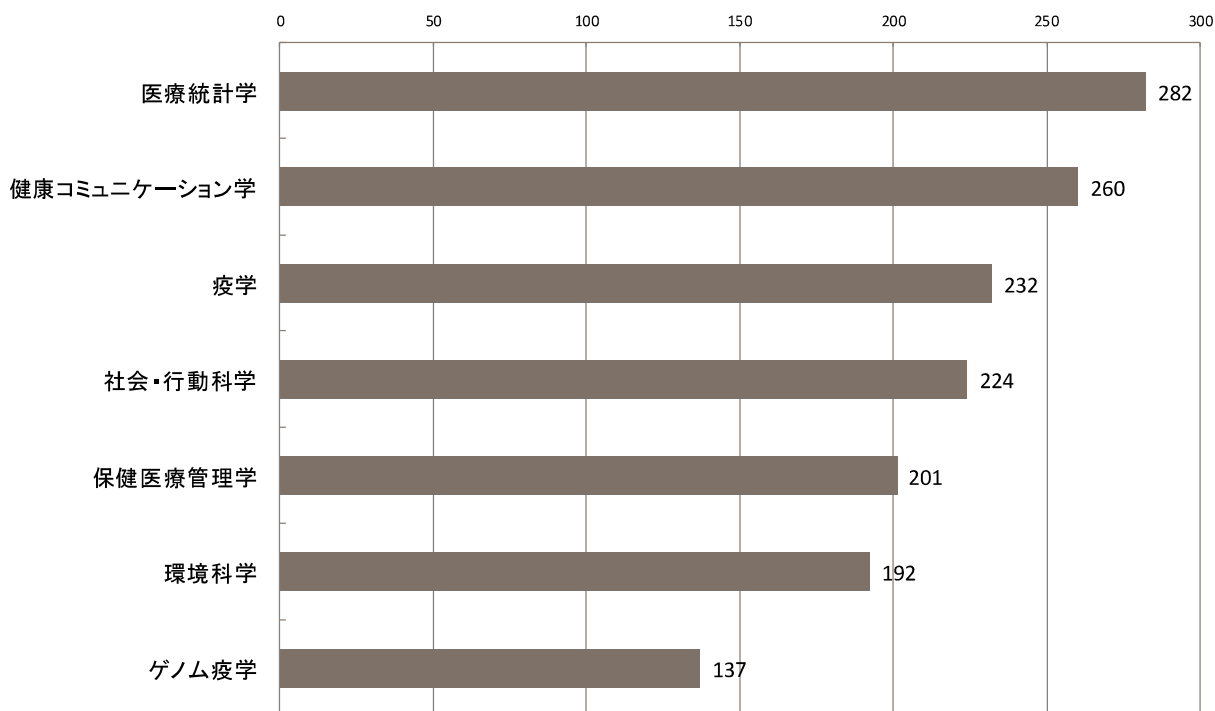
大変興味がある 101 人 + 多少興味がある 378 人 = 479 人（54.7%）



- (3) 興味がある理由 (有効数 475 人) ※複数回答あり
 専門知識を現場に生かしたい 190 人 (40.0%)
 健康寿命の延伸に興味、関心がある 184 人 (38.7%)
 医療・介護などのデータを活用してみたい 182 人 (38.3%)



- (4) 興味のある授業科目分野 (有効数 471 人) ※複数回答あり
 公衆衛生の5領域 192 人~282 人 (40.8%~59.9%)
 健康コミュニケーション学 260 人 (55.2%)

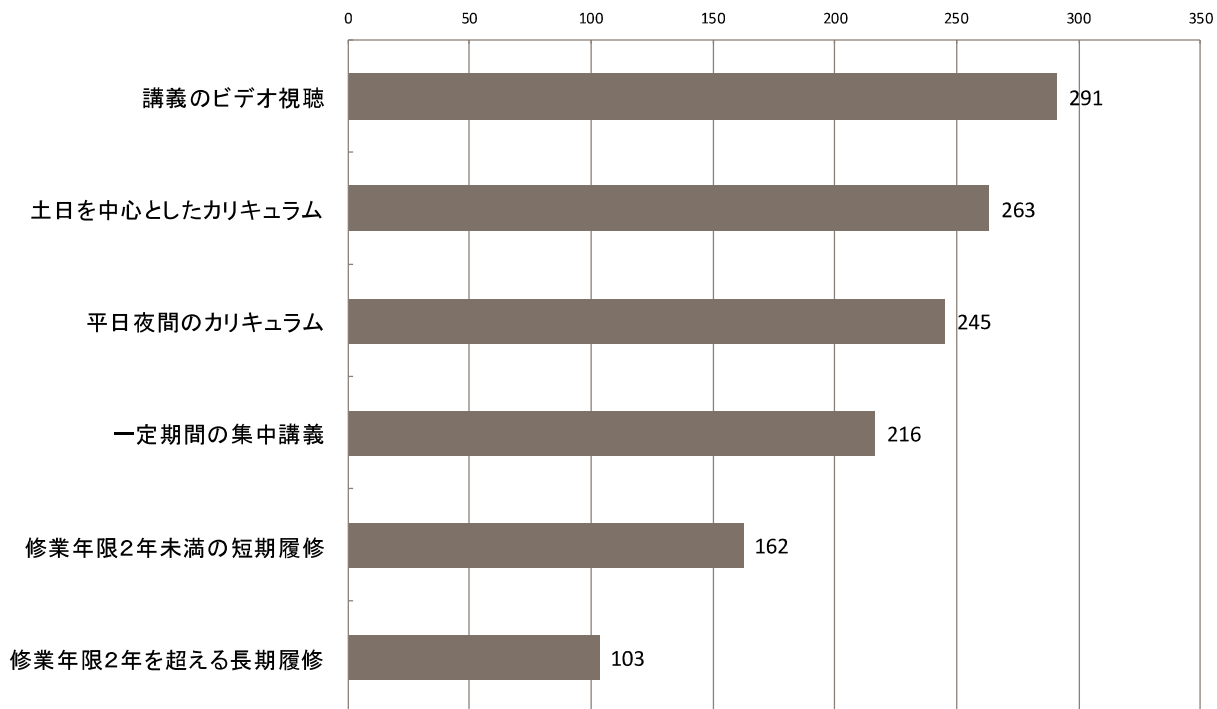


(5) 授業の履修に必要な配慮 (有効数 476 人) ※複数回答あり

講義のビデオ視聴 291 人 (61.1%)

土日を中心としたカリキュラム 263 人 (55.3%)

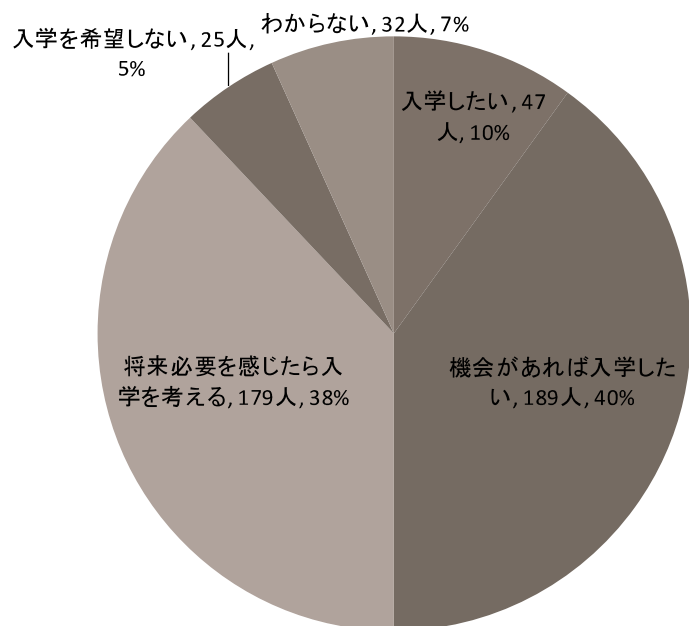
平日夜間のカリキュラム 245 人 (51.5%)



(6) 大学院大学への進学意向 (有効数 472 人)

入学したい 47 人 + 機会があれば入学したい 189 人

+ 将来必要を感じたら入学を考える 179 人 = 415 人 (87.9%)

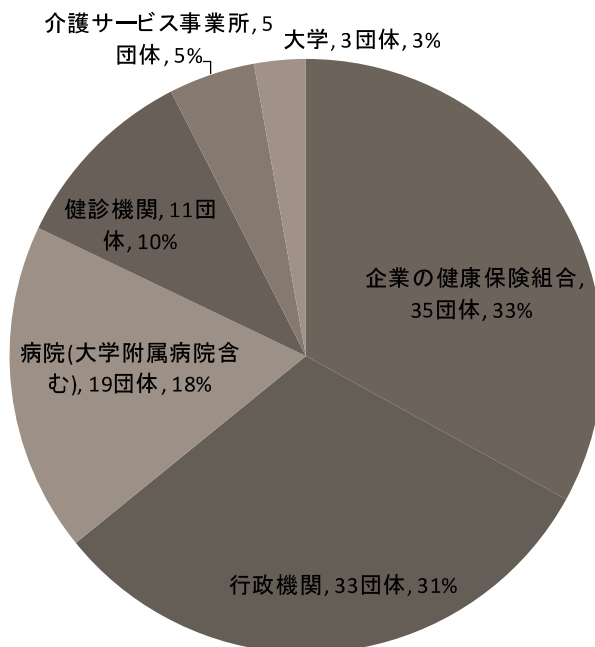


2 人材需要調査

(1) 回答者（母数 125 団体）

106 団体（回収率 84.8%）

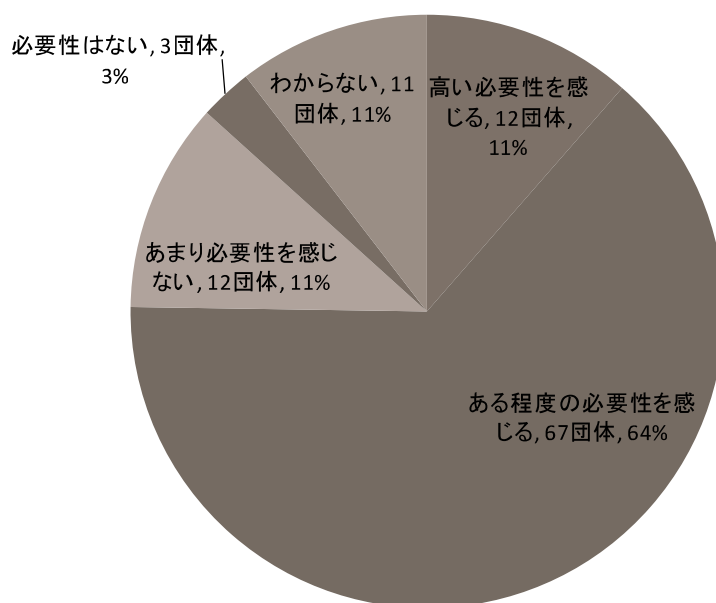
うち、健康保険組合 35 団体、市町 33 団体、病院 19 団体



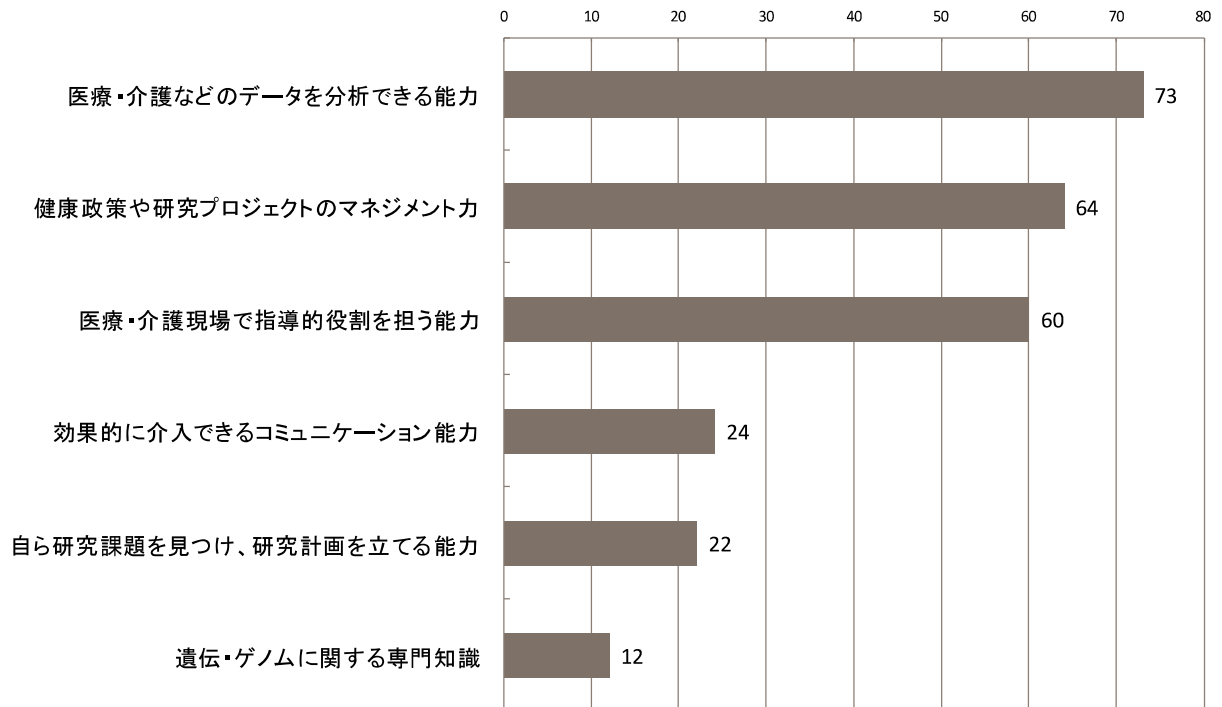
(2) 大学院大学の必要性（有効数 105 団体）

高い必要性を感じる 12 団体

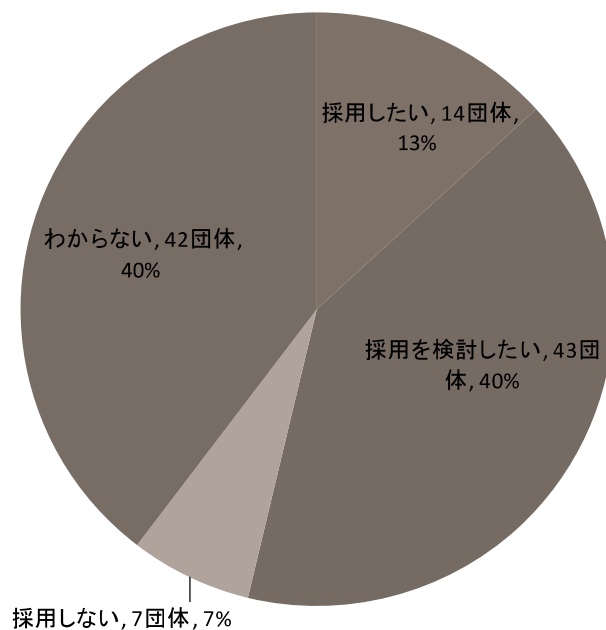
+ある程度の必要性を感じる 67 団体 = 79 団体（75.2%）



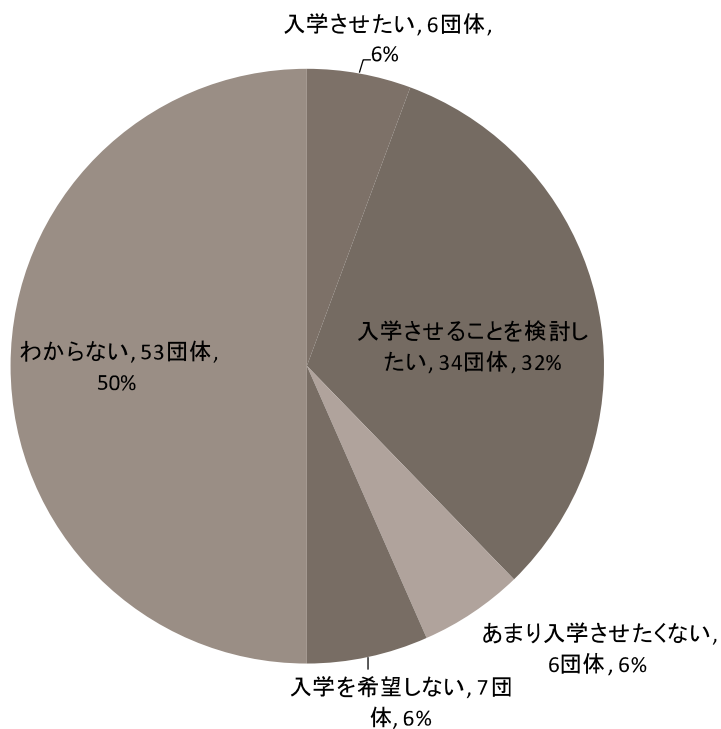
- (3) 大学院大学の修了生に期待する能力 (有効数 101 団体) ※複数回答あり
 医療・介護などのデータを分析する能力 73 団体 (72.3%)
 健康政策や研究プロジェクトのマネジメント力 64 団体 (63.4%)
 医療・介護現場で指導的役割を担う能力 60 団体 (59.4%)



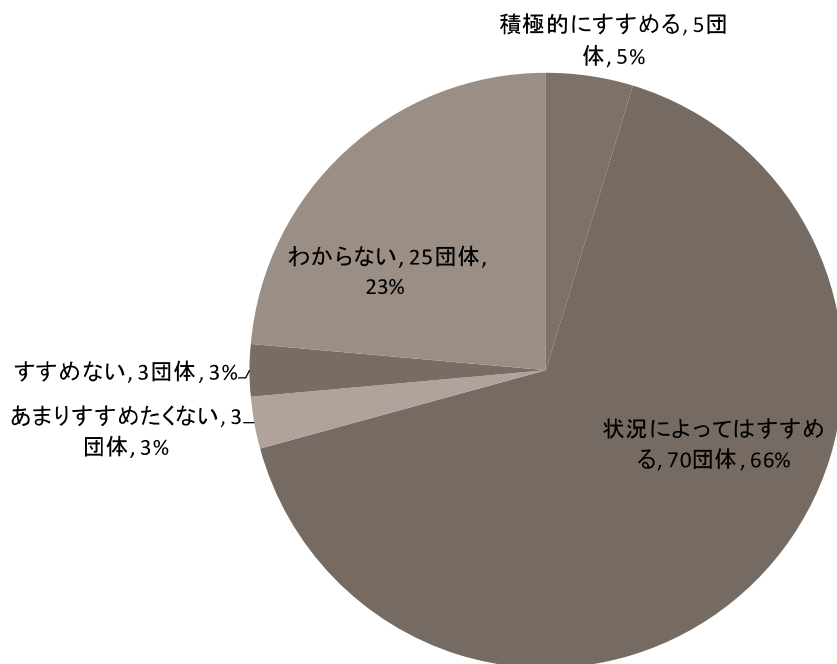
- (4) 大学院大学の修了生を採用する意思 (有効数 106 団体)
 採用したい 14 団体 + 採用を検討したい 43 団体 = 57 団体 (53.8%)



- (5) 団体職員を大学院大学へ入学させる意思 (有効数 106 団体)
 入学させたい 6 団体
 + 入学させることを検討したい 34 団体 = 40 団体 (37.7%)



- (6) 団体職員の入学希望に対する入学勧奨の意思 (有効数 106 団体)
 積極的にすすめる 5 団体
 + 状況によってはすすめる 70 団体 = 75 団体 (70.8%)



大学院大学への進学意向に関するアンケート調査

- ・静岡県では、県内の医療・介護現場の第一線で活躍している医師、看護師などの専門職等を対象とした大学院大学の設置を検討しています。
- ・このアンケート調査は、皆さんの今後の大学院大学への進学意向等についてお伺いし、設置計画の基礎資料とするものです。ご協力をお願いします。
- ・別紙の「社会健康医学系大学院大学（仮称）修士課程の概要」をお読みいただき、以下の質問にお答えください。
- ・回答は、あてはまる選択肢の番号に○をつけてください。
- ・その他や自由回答については、() 内に記載してください。
- ・このアンケート調査は、統計資料としてのみ用い、目的以外に利用することはありません。
- ・平成30年 月 日 () までに、本調査票のみを、同封した返信用封筒にてお送りください。

I あなたに関することについて、お答えください。

問1 あなたの年齢について、おたずねします（調査記入時点）。

1. 20歳代 2. 30歳代 3. 40歳代 4. 50歳代 5. 60歳以上

問2 あなたの性別について、おたずねします。

1. 男性 2. 女性

問3 あなたのお住まい（現住所）は、どこですか。

1. 下田市 2. 東伊豆町 3. 河津町 4. 南伊豆町 5. 松崎町
6. 西伊豆町 7. 沼津市 8. 熱海市 9. 三島市 10. 富士宮市
11. 伊東市 12. 富士市 13. 御殿場市 14. 裾野市 15. 伊豆市
16. 伊豆の国市 17. 函南町 18. 清水町 19. 長泉町 20. 小山町
21. 静岡市 22. 島田市 23. 焼津市 24. 藤枝市 25. 牧之原市
26. 吉田町 27. 川根本町 28. 磐田市 29. 掛川市 30. 袋井市
31. 御前崎市 32. 菊川市 33. 森町 34. 浜松市 35. 湖西市
36. 県外（都道府県名：)

問4 あなたの職業（職種）について、おたずねします。主なもの1つに○をつけてください。

- | | | | |
|-----------|---------------------|-------------|-----------------------|
| 1. 医師 | 2. 歯科医師 | 3. 薬剤師 | 4. 看護師・助産師 |
| 5. 保健師 | 6. 栄養士 | 7. 臨床検査技師 | 8. 診療放射線技師 |
| 9. 臨床工学技士 | 10. 治験コーディネーター（CRC） | | |
| 11. 理学療法士 | 12. 作業療法士 | 13. 言語聴覚士 | 14. 医療事務職 |
| 15. 介護福祉士 | 16. 社会福祉士 | 17. 精神保健福祉士 | 18. 介護職員 |
| 19. 大学教員 | 20. 行政職 | 21. 大学院生 | 22. その他（ ） |

問5 あなたの最終学歴について、おたずねします。

- | | | |
|--------------|--------------|----------------------|
| 1. 大学院（博士課程） | 2. 大学院（修士課程） | 3. 大学 |
| 4. 短期大学 | 5. 専門学校 | 6. その他（ ） |

大学院大学修了者の人材需要に関するアンケート調査

- ・静岡県では、県内の医療・介護現場の第一線で活躍している医師、看護師などの専門職等を対象とした大学院大学の設置を検討しています。
- ・このアンケート調査は、大学院大学の設置計画の基礎とするため、貴団体（貴院／貴学／貴社）の採用意向についてお伺いするものです。ご協力をお願いします。
- ・別紙の「社会健康医学系大学院大学（仮称）修士課程の概要」をお読みいただき、以下の質問にお答えください。
- ・回答は、あてはまる選択肢の番号に○をつけてください。
- ・その他や自由回答については、（ ）内に記載してください。
- ・このアンケート調査は、統計資料としてのみ用い、目的以外に利用することはありません。
- ・平成30年 月 日（ ）までに、本調査票のみを、同封した返信用封筒にてお送りください。

I 貴団体（貴院、貴学、貴社）に関することについて、お答えください。

問1 本部の所在地は、2次保健医療圏のうち、どの医療圏に属しますか。

1. 賀 茂 （下田市、東伊豆町、河津町、南伊豆町、松崎町、西伊豆町）
2. 熱海伊東（熱海市、伊東市）
3. 駿東田方（沼津市、三島市、御殿場市、裾野市、伊豆市、伊豆の国市、
函南町、清水町、長泉町、小山町）
4. 富 士 （富士宮市、富士市）
5. 静 岡 （静岡市）
6. 志太榛原（島田市、焼津市、藤枝市、牧之原市、吉田町、川根本町）
7. 中東遠 （磐田市、掛川市、袋井市、御前崎市、菊川市、森町）
8. 西 部 （浜松市、湖西市）
9. 県 外 （都道府県名： ）

問2 業種についてお聞きします。

1. 病院（大学附属病院も含む）
2. 大学
3. 介護サービス事業所
4. 行政機関
5. 企業の健康保険組合
6. 健診機関
7. その他（ ）

問7 貴団体では、職員（大学の場合は教員）側から、静岡県が設置を検討している社会健康医学系大学院大学（仮称）で学びたいと申し入れがあった場合、入学をすすめますか。

1. 積極的にすすめる
2. 状況によってはすすめる
3. あまりすすめたくない
4. すすめない
5. わからない

問8 静岡県が設置を検討している社会健康医学系大学院大学（仮称）について、ご意見・ご要望がありましたら、ご自由にお書きください。



◆ご協力ありがとうございました。

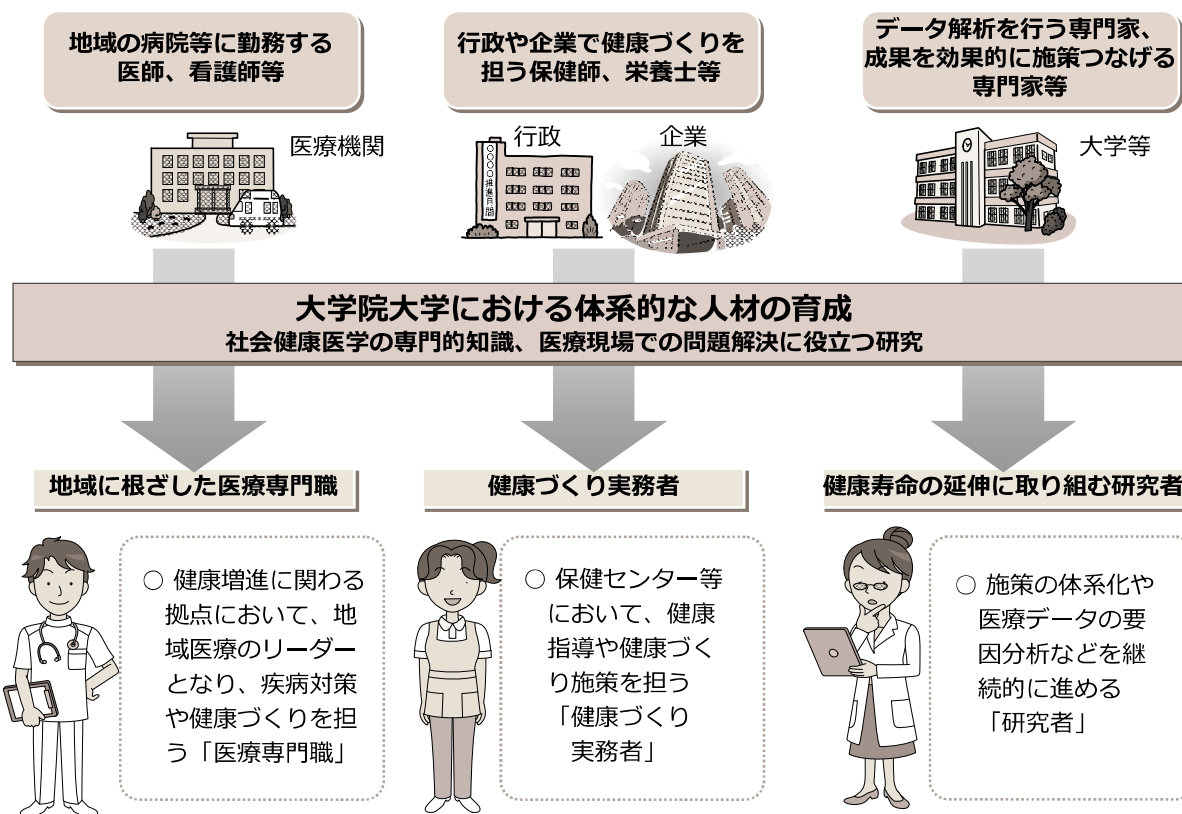
社会健康医学系大学院大学（仮称）修士課程の概要

静岡県では、県民の健康寿命の更なる延伸を図るため、県内の医療・介護現場の第一線で活躍している医師、看護師などの専門職等を対象に、現在の職場で働きながら社会健康医学（※）の専門的知識を学び、また、医療現場での問題解決に役立つ研究に従事した上で、社会健康医学修士（※）の学位を取得できる大学院大学の設置を検討しています（標準修業年限は2年）。

- ※ 社会健康医学とは、従来の公衆衛生学を発展させた、病気を予防する、または病気にならないような地域・環境を研究する総合的かつ新しい学問分野です。
- ※ 社会健康医学修士は、国際的にも通用する Master of Public Health（MPH：一般的には、公衆衛生学修士と訳される）と同じ学位であり、国内では京都大学で授与しています。

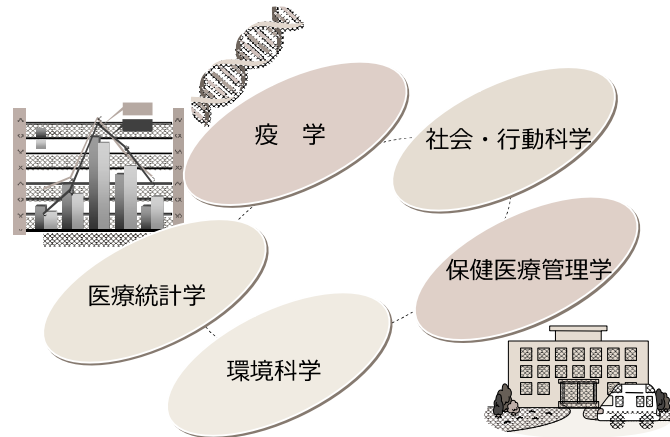
【設置構想中】掲載内容は予定であり、変更する場合があります

<養成する人材>

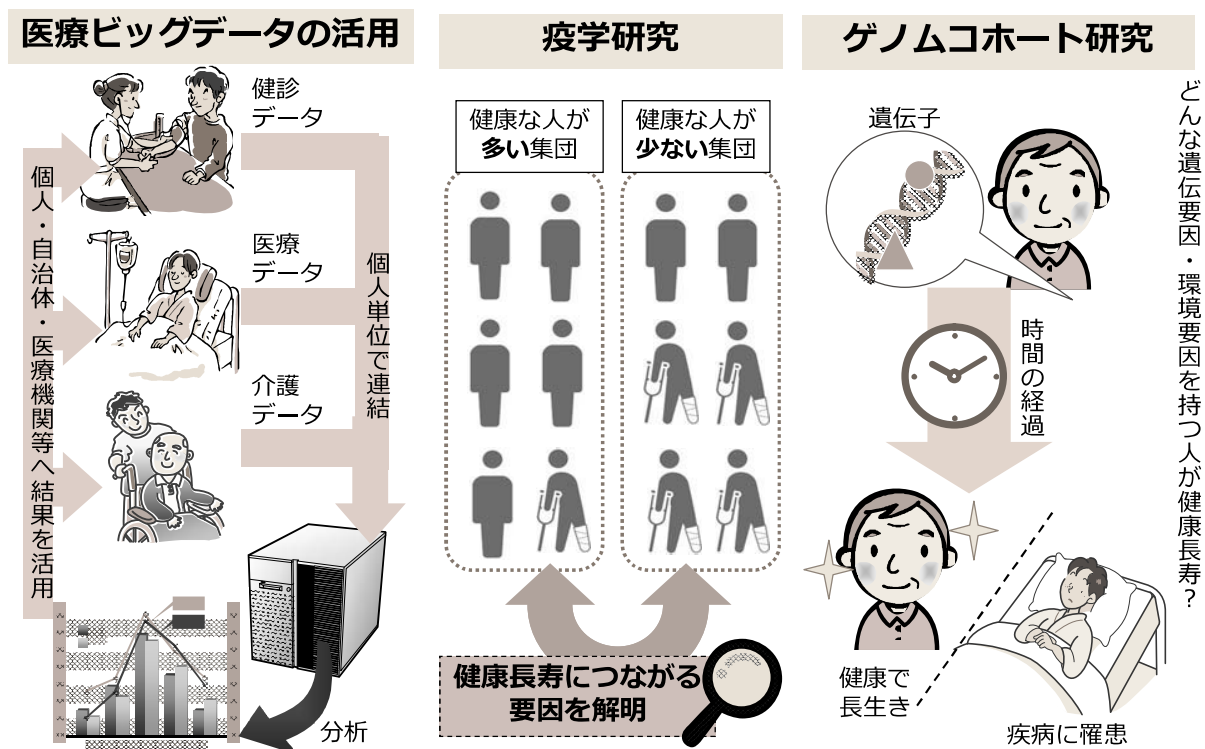


<教育課程の特色>

○公衆衛生学の国際標準である「疫学」、「医療統計学」、「環境科学」、「保健医療管理学」、「社会・行動科学」の5つの学問領域を中心としたカリキュラム構成



○静岡県内の医療情報を活用した、医療現場に還元できる疾病予防、健康増進のための研究を実施



静岡社会健康医学大学院大学社会健康医学研究科
社会健康医学専攻(修士課程) (仮称)への
入学意向に関するアンケート調査報告

令和元年 10 月

一般財団法人 日本開発構想研究所

静岡社会健康医学大学院大学社会健康医学研究科社会健康医学専攻(修士課程)(仮称)への
入学意向に関するアンケート調査報告

1. 調査概要

(1) 調査目的

静岡県が 2021 年 4 月に静岡社会健康医学大学院大学(仮称)を設置する構想に向けて、静岡社会健康医学大学院大学社会健康医学研究科社会健康医学専攻(修士課程)(仮称) (以下、静岡社会健康医学大学院大学とする。) への入学意向を把握することを目的とする。

(2) 調査対象者及び調査方法

調査対象の種別	対象数	調査方法
①医師	339	個人あてに送付
②健康保険組合	91	団体等に送付し、在籍の医療専門 職・保健指導担当者・学生等に配布
③行政機関	210	
④大学	90	
⑤病院・介護事業所等医療関係機関	1,195	
総計	1,925	

静岡社会健康医学大学院大学への進学を検討すると見込まれる、上記表の①～⑤の対象に対して調査を行った。

調査方法は下記の通りである。

1) ①医師

アンケート用紙及び静岡社会健康医学大学院大学の概要を個人に宛てて郵送し、調査を実施した。回答用紙については一般財団法人日本開発構想研究所へ回答者から直接郵送。

2) ②健康保険組合、③行政機関、④大学、⑤病院・介護事業所等医療関係機関に在籍している医療専門職・保健指導担当者・学生等

アンケート用紙及び静岡社会健康医学大学院大学の概要を②～⑤の管理者・採用担当者等に送付し、管理者・採用担当者等から、当該団体等に在籍している修士課程に進学する可能性のある医療専門職・保健指導担当者・学生等に配布し、調査を実施した。回答用紙については一般財団法人日本開発構想研究所へ回答者から直接郵送。

この結果、717 人から有効回答があった。集計結果より、静岡社会健康医学大学院大学への入学意向を分析した。

(3) 調査実施期間
令和元年 7 月～10 月

(4) 有効回収率等
調査対象者数：1,925 人 有効回答者数：717 人 有効回収率：約 37.2%

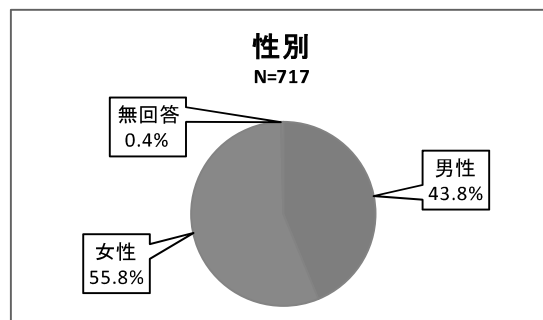
※静岡県が設置を構想している静岡社会健康医学大学院大学社会健康医学研究科社会健康医学専攻(修士課程)は仮称であるが、本文中ではその旨の表示を省略した。また、1 研究科 1 専攻 1 課程での設置構想であることから、研究科名称、専攻名称、課程名称についても省略し、単に静岡社会健康医学大学院大学として表記した。

2. 調査結果

(1) 性別について

性別について調査した結果、回答者 717 人のうち、「女性」が 400 人 (55.8%)、「男性」 314 人 (43.8%) の順になっている。 ※「無回答」 3 人 (0.4%)

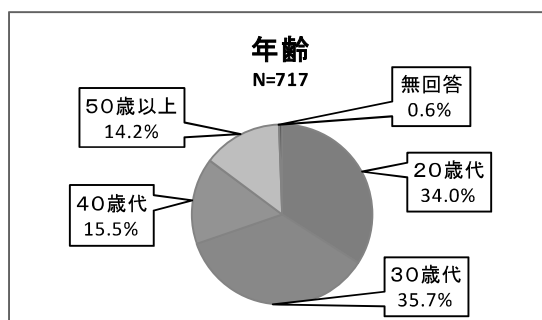
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	男性	314	43.8
2	女性	400	55.8
	無回答	3	0.4
	N (%ベース)	717	100



(2) 年齢について

年齢について調査した結果、回答者 717 人のうち、「30 歳代」が 256 人 (35.7%) と最も多く、次いで「20 歳代」が 244 人 (34.0%)、「40 歳代」 111 人 (15.5%)、「50 歳以上」 102 人 (14.2%) の順になっている。 ※「無回答」 4 人 (0.6%)

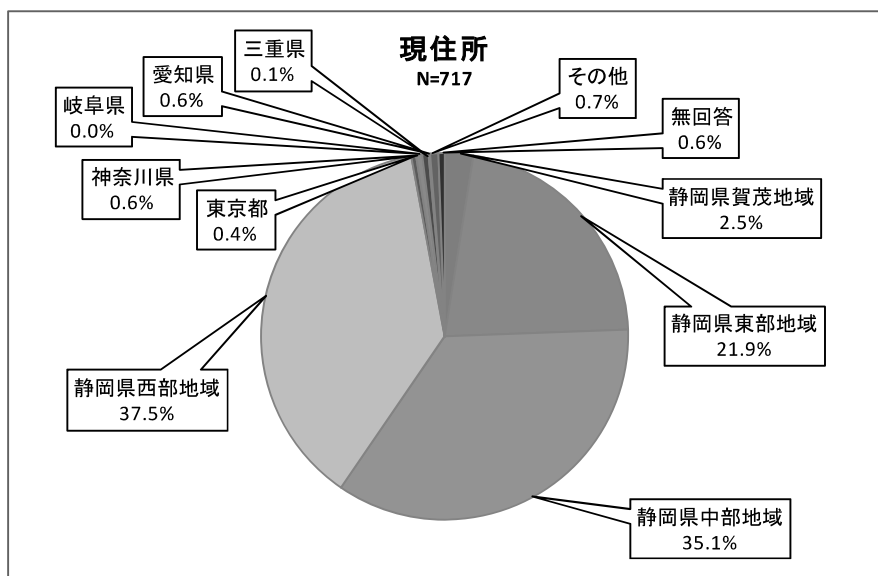
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	20 歳代	244	34.0
2	30 歳代	256	35.7
3	40 歳代	111	15.5
4	50 歳以上	102	14.2
	無回答	4	0.6
	N (%ベース)	717	100



(3) 現住所について

現住所について調査した結果、回答者 717 人のうち、「静岡県西部地域」が 269 人 (37.5%) と最も多く、次いで「静岡県中部地域」 252 人 (35.1%)、「静岡県東部地域」 157 人 (21.9%)、「静岡県賀茂地域」 18 人 (2.5%)、「その他」 5 人 (0.7%)、「神奈川県」 4 人 (0.6%)、「愛知県」 4 人 (0.6%)、「東京都」 3 人 (0.4%)、「三重県」 1 人 (0.1%) の順になっている。 ※ 「無回答」 4 人 (0.6%)

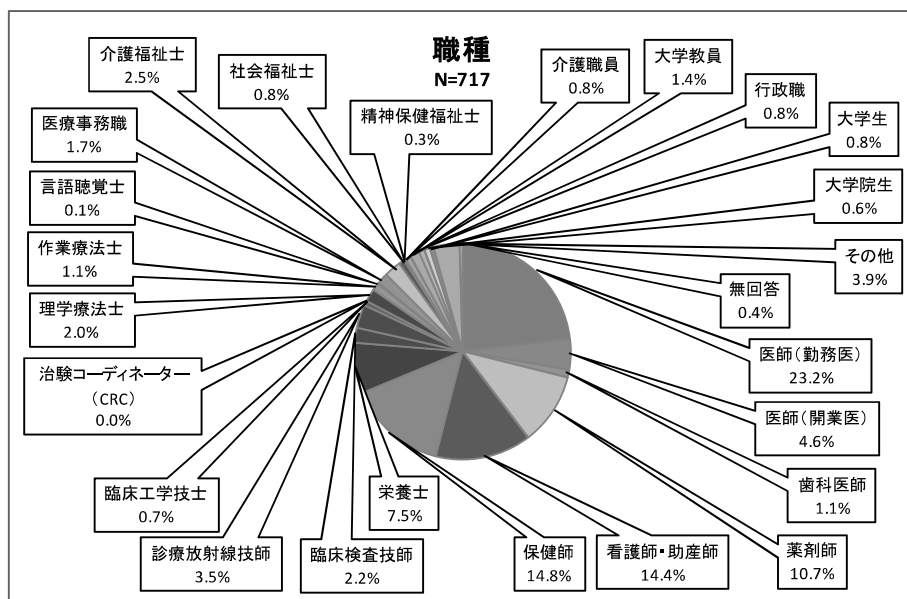
現住所			
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	静岡県賀茂地域	18	2.5
2	静岡県東部地域	157	21.9
3	静岡県中部地域	252	35.1
4	静岡県西部地域	269	37.5
5	東京都	3	0.4
6	神奈川県	4	0.6
7	岐阜県	0	0.0
8	愛知県	4	0.6
9	三重県	1	0.1
10	その他	5	0.7
	無回答	4	0.6
	N (% [^] -ス)	717	100



(4) 職種について

在籍する団体等の業種について調査した結果、1.0%以上の割合を占めたものを挙げると、回答者 717 人のうち、「医師（勤務医）」が 166 人（23.2%）と最も多く、次いで「保健師」106 人（14.8%）、「看護師・助産師」103 人（14.4%）、「薬剤師」77 人（10.7%）、「栄養士」54 人（7.5%）、「医師（開業医）」33 人（4.6%）、「その他」28 人（3.9%）、「診療放射線技師」25 人（3.5%）、「介護福祉士」18 人（2.5%）、「臨床検査技師」16 人（2.2%）、「理学療法士」14 人（2.0%）、「医療事務職」12 人（1.7%）、「大学教員」10 人（1.4%）、「歯科医師」8 人（1.1%）、「作業療法士」8 人（1.1%）の順になっている。 ※「無回答」3 人（0.4%）

職種			
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	医師（勤務医）	166	23.2
2	医師（開業医）	33	4.6
3	歯科医師	8	1.1
4	薬剤師	77	10.7
5	看護師・助産師	103	14.4
6	保健師	106	14.8
7	栄養士	54	7.5
8	臨床検査技師	16	2.2
9	診療放射線技師	25	3.5
10	臨床工学技士	5	0.7
11	治験コーディネーター（CRC）	0	0.0
12	理学療法士	14	2.0
13	作業療法士	8	1.1
14	言語聴覚士	1	0.1
15	医療事務職	12	1.7
16	介護福祉士	18	2.5
17	社会福祉士	6	0.8
18	精神保健福祉士	2	0.3
19	介護職員	6	0.8
20	大学教員	10	1.4
21	行政職	6	0.8
22	大学生	6	0.8
23	大学院生	4	0.6
24	その他	28	3.9
	無回答	3	0.4
	N (% [^] - [→])	717	100

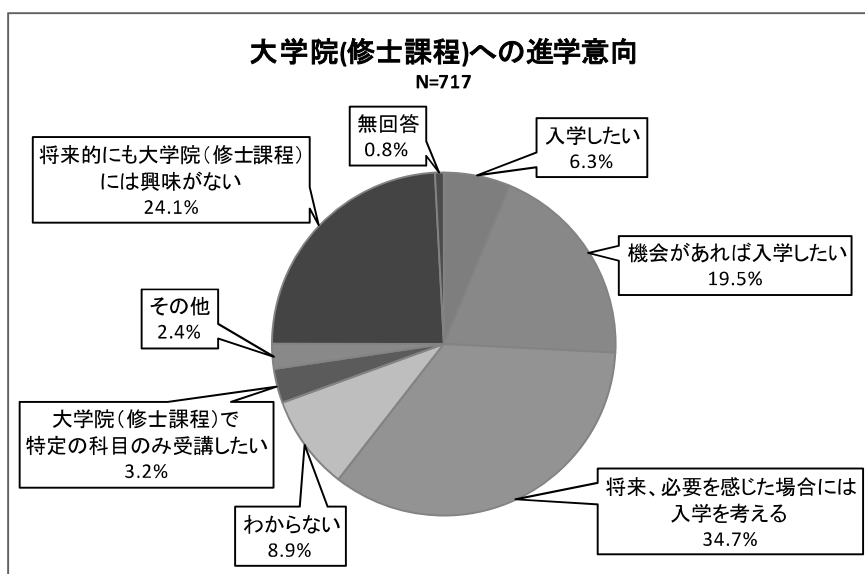


(5) 大学院（修士課程）への進学意向について

大学院（修士課程）への進学について調査した結果、回答者 717 人のうち、「将来、必要を感じた場合には入学を考える」が 249 人（34.7%）と最も多く、次いで「将来的にも大学院（修士課程）には興味がない」173 人（24.1%）、「機会があれば入学したい」140 人（19.5%）、「わからない」64 人（8.9%）、「入学したい」45 人（6.3%）、「大学院（修士課程）で特定の科目のみ受講したい」23 人（3.2%）、「その他」17 人（2.4%）の順になっている。 ※「無回答」6 人（0.8%）

大学院(修士課程)への進学意向

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	入学したい	45	6.3
2	機会があれば入学したい	140	19.5
3	将来、必要を感じた場合には入学を考える	249	34.7
4	わからない	64	8.9
5	大学院（修士課程）で特定の科目のみ受講したい	23	3.2
6	その他	17	2.4
7	将来的にも大学院（修士課程）には興味がない	173	24.1
	無回答	6	0.8
	N (%ベース)	717	100



(6) 大学院（修士課程）への進学理由について

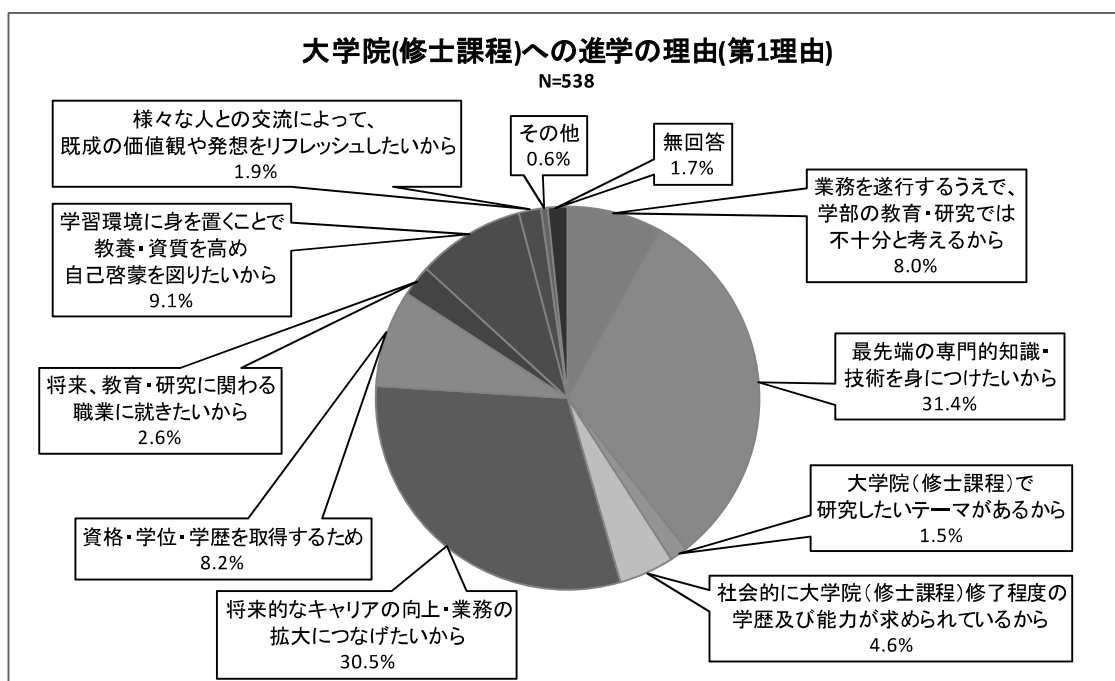
6-1 大学院（修士課程）への進学理由（第1理由）について

「(5) 大学院（修士課程）への進学意向について」にて「将来的にも大学院（修士課程）には興味がない」と回答した173人と「無回答」6人を除く538人に、大学院（修士課程）への進学理由（第1理由）について調査した。

その結果は、「最先端の専門的知識・技術を身につけたいから」が169人（31.4%）と最も多く、次いで「将来的なキャリアの向上・業務の拡大につなげたいから」164人（30.5%）、「学習環境に身を置くことで教養・資質を高め自己啓蒙を図りたいから」49人（9.1%）、「資格・学位・学歴を取得するため」44人（8.2%）、「業務を遂行するうえで、学部の教育・研究では不十分と考えるから」43人（8.0%）、「社会的に大学院（修士課程）修了程度の学歴及び能力が求められているから」25人（4.6%）、「将来、教育・研究に関わる職業に就きたいから」14人（2.6%）、「様々な人との交流によって、既成の価値観や発想をリフレッシュしたいから」10人（1.9%）、「大学院（修士課程）で研究したいテーマがあるから」8人（1.5%）、「その他」3人（0.6%）の順になっている。 ※「無回答」9人（1.7%）

大学院(修士課程)への進学理由(第1理由)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	業務を遂行するうえで、学部の教育・研究では不十分と考えるから	43	8.0
2	最先端の専門的知識・技術を身につけたいから	169	31.4
3	大学院（修士課程）で研究したいテーマがあるから	8	1.5
4	社会的に大学院（修士課程）修了程度の学歴及び能力が求められているから	25	4.6
5	将来的なキャリアの向上・業務の拡大につなげたいから	164	30.5
6	資格・学位・学歴を取得するため	44	8.2
7	将来、教育・研究に関わる職業に就きたいから	14	2.6
8	学習環境に身を置くことで教養・資質を高め自己啓蒙を図りたいから	49	9.1
9	様々な人との交流によって、既成の価値観や発想をリフレッシュしたいから	10	1.9
10	その他	3	0.6
	無回答	9	1.7
	N（%ベース）	538	100



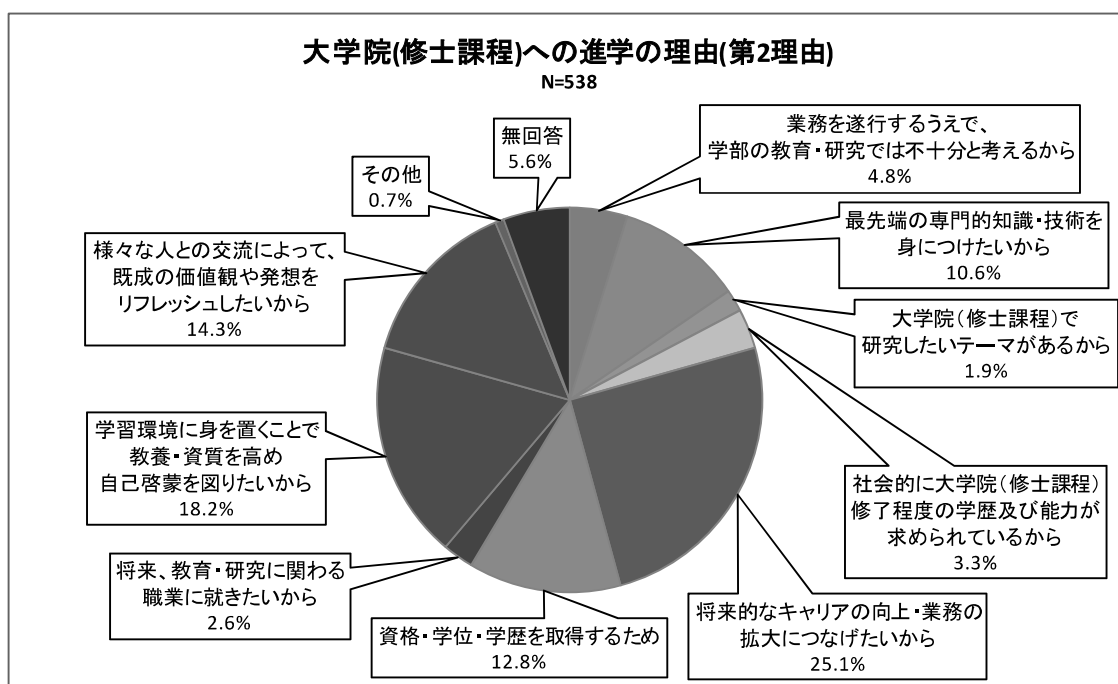
6-2 大学院（修士課程）への進学理由（第2理由）について

「(5) 大学院（修士課程）への進学意向について」にて「将来的にも大学院（修士課程）には興味がない」と回答した173人と「無回答」6人を除く538人に、大学院（修士課程）への進学の理由（第2理由）について調査した。

その結果は、「将来的なキャリアの向上・業務の拡大につなげたいから」が135人（25.1%）と最も多く、次いで「学習環境に身を置くことで教養・資質を高め自己啓蒙を図りたいから」98人（18.2%）、「様々な人との交流によって、既成の価値観や発想をリフレッシュしたいから」77人（14.3%）、「資格・学位・学歴を取得するため」69人（12.8%）、「最先端の専門的知識・技術を身につけたいから」57人（10.6%）、「業務を遂行するうえで、学部の教育・研究では不十分と考えるから」26人（4.8%）、「社会的に大学院（修士課程）修了程度の学歴及び能力が求められているから」18人（3.3%）、「将来、教育・研究に関わる職業に就きたいから」14人（2.6%）、「大学院（修士課程）で研究したいテーマがあるから」10人（1.9%）、「その他」4人（0.7%）の順になっている。 ※「無回答」30人（5.6%）

大学院(修士課程)への進学の理由(第2理由)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	業務を遂行するうえで、学部の教育・研究では不十分と考えるから	26	4.8
2	最先端の専門的知識・技術を身につけたいから	57	10.6
3	大学院（修士課程）で研究したいテーマがあるから	10	1.9
4	社会的に大学院（修士課程）修了程度の学歴及び能力が求められているから	18	3.3
5	将来的なキャリアの向上・業務の拡大につなげたいから	135	25.1
6	資格・学位・学歴を取得するため	69	12.8
7	将来、教育・研究に関わる職業に就きたいから	14	2.6
8	学習環境に身を置くことで教養・資質を高め自己啓蒙を図りたいから	98	18.2
9	様々な人との交流によって、既成の価値観や発想をリフレッシュしたいから	77	14.3
10	その他	4	0.7
	無回答	30	5.6
	N（%ベース）	538	100



(7) 大学院入学に必要な条件整備について

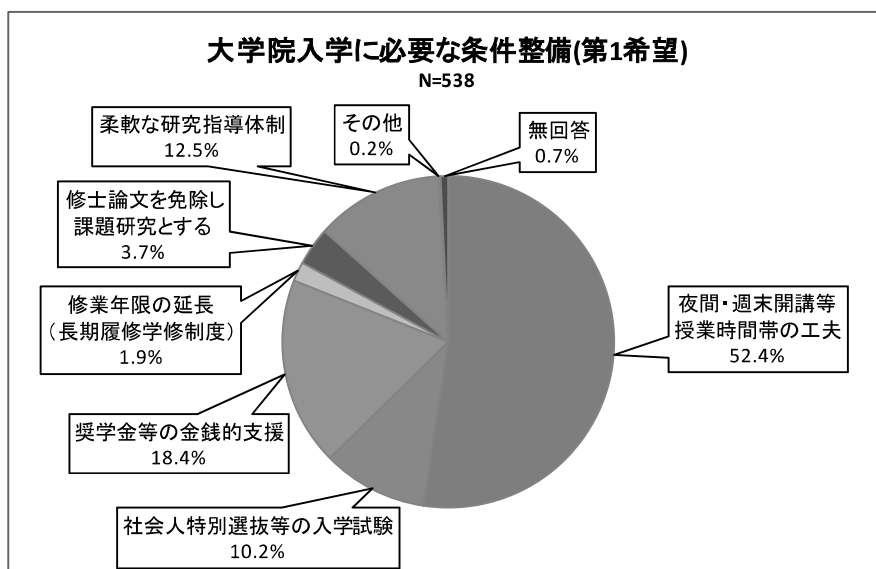
7-1 大学院入学に必要な条件整備（第1希望）について

「(5) 大学院（修士課程）への進学意向について」にて「将来的にも大学院（修士課程）には興味がない」と回答した 173 人と「無回答」6 人を除く 538 人に、大学院に入学する上で、どのような条件整備が必要と考えるか調査した。

その結果、「夜間・週末開講等授業時間帯の工夫」が 282 人（52.4%）と最も多く、次いで「奨学金等の金銭的支援」99 人（18.4%）、「柔軟な研究指導体制」67 人（12.5%）、「社会人特別選抜等の入学試験」55 人（10.2%）、「修士論文を免除し課題研究とする」20 人（3.7%）、「修業年限の延長（長期履修学修制度）」10 人（1.9%）、「その他」1 人（0.2%）の順になっている。 ※「無回答」4 人（0.7%）

大学院入学に必要な条件整備（第1希望）

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	夜間・週末開講等授業時間帯の工夫	282	52.4
2	社会人特別選抜等の入学試験	55	10.2
3	奨学金等の金銭的支援	99	18.4
4	修業年限の延長（長期履修学修制度）	10	1.9
5	修士論文を免除し課題研究とする	20	3.7
6	柔軟な研究指導体制	67	12.5
7	その他	1	0.2
	無回答	4	0.7
	N（%ベース）	538	100



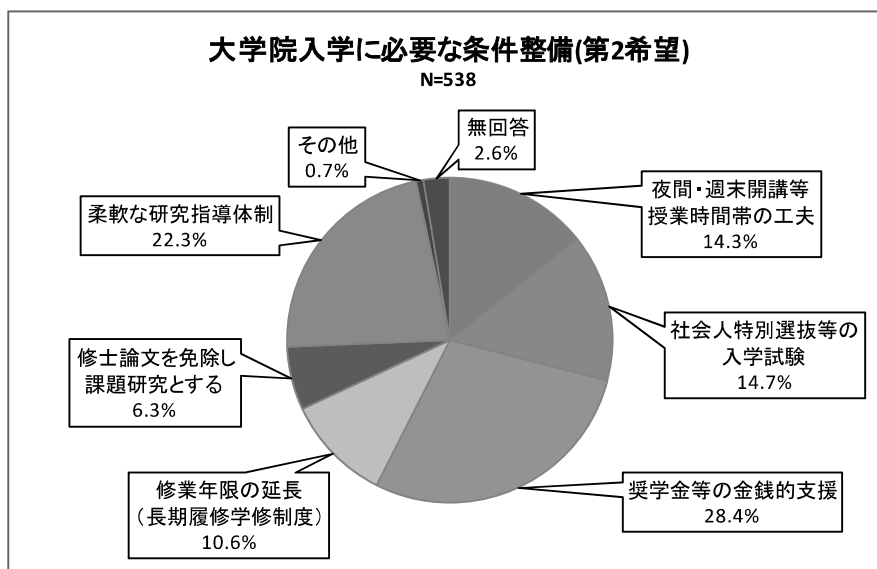
7-2 大学院入学に必要な条件整備（第2希望）について

「(5) 大学院（修士課程）への進学意向について」にて「将来的にも大学院（修士課程）には興味がない」と回答した 173 人と「無回答」6 人を除く 538 人に、大学院に入学する上で、どのような条件整備が必要と考えるか調査した。

その結果、「奨学金等の金銭的支援」が 153 人（28.4%）と最も多く、次いで「柔軟な研究指導体制」120 人（22.3%）、「社会人特別選抜等の入学試験」79 人（14.7%）、「夜間・週末開講等授業時間帯の工夫」77 人（14.3%）、「修業年限の延長（長期履修学修制度）」57 人（10.6%）、「修士論文を免除し課題研究とする」34 人（6.3%）、「その他」4 人（0.7%）の順になっている。 ※「無回答」14 人（2.6%）

大学院入学に必要な条件整備(第2希望)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	夜間・週末開講等授業時間帯の工夫	77	14.3
2	社会人特別選抜等の入学試験	79	14.7
3	奨学金等の金銭的支援	153	28.4
4	修業年限の延長（長期履修学修制度）	57	10.6
5	修士論文を免除し課題研究とする	34	6.3
6	柔軟な研究指導体制	120	22.3
7	その他	4	0.7
	無回答	14	2.6
	N (%ベース)	538	100



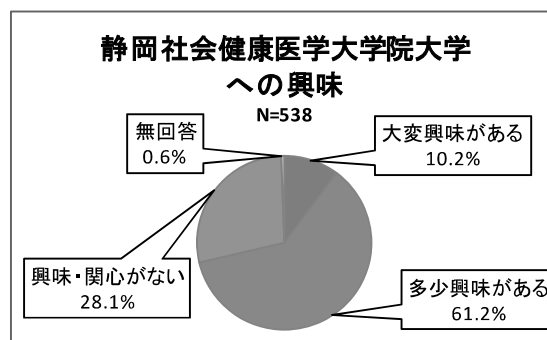
(8) 静岡社会健康医学大学院大学への興味について

「(5) 大学院（修士課程）への進学意向について」にて「将来的にも大学院（修士課程）には興味がない」と回答した 173 人と「無回答」6 人を除く 538 人に、静岡社会健康医学大学院大学への入学についての興味・関心について調査した。

その結果、「大変興味がある」55 人（10.2%）、「多少興味がある」329 人（61.2%）の回答を得た。合計で 384 人（71.4%）が静岡社会健康医学大学院大学への入学について興味を示している。 ※「無回答」3 人（0.6%）

静岡社会健康医学大学院大学への興味

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	大変興味がある	55	10.2
2	多少興味がある	329	61.2
3	興味・関心がない	151	28.1
	無回答	3	0.6
	N (%ベース)	538	100



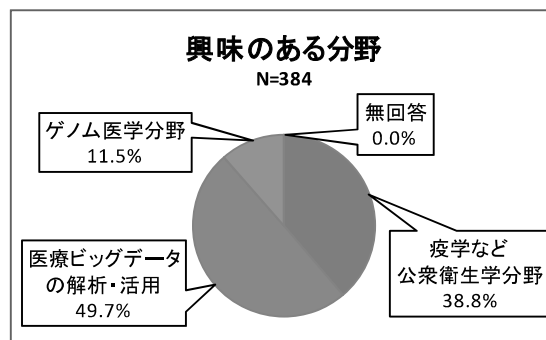
(9) 興味のある分野について

「(8) 静岡社会健康医学大学院大学への興味について」にて興味を示した 384 人に、興味のある分野について調査した。

その結果は、「医療ビッグデータの解析・活用」が 191 人（49.7%）と最も多く、次いで「疫学など公衆衛生学分野」149 人（38.8%）、「ゲノム医学分野」44 人（11.5%）の順になっている。

興味のある分野

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	疫学など公衆衛生学分野	149	38.8
2	医療ビッグデータの解析・活用	191	49.7
3	ゲノム医学分野	44	11.5
	無回答	0	0.0
	N (%ベース)	384	100



(10) 静岡社会健康医学大学院大学への興味の理由について

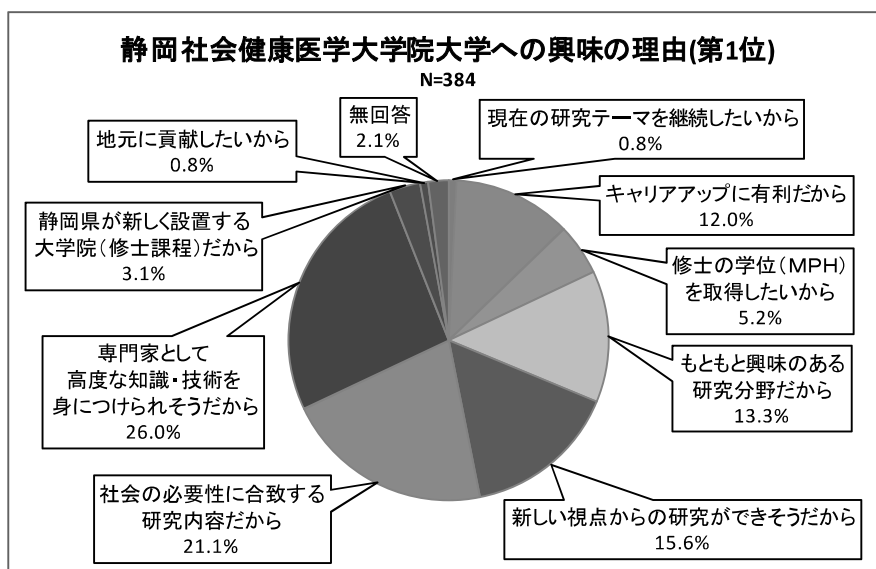
10-1 静岡社会健康医学大学院大学への興味の理由（第1位）について

「(8) 静岡社会健康医学大学院大学への興味について」にて興味を示した 384 人に、静岡社会健康医学大学院大学への興味の理由について調査した。

その結果は、「専門家として高度な知識・技術を身につけられそうだから」が 100 人 (26.0%) と最も多く、次いで「社会の必要性に合致する研究内容だから」81 人 (21.1%)、「新しい視点からの研究ができそうだから」60 人 (15.6%)、「もともと興味のある研究分野だから」51 人 (13.3%)、「キャリアアップに有利だから」46 人 (12.0%)、「修士の学位 (MPH) を取得したいから」20 人 (5.2%)、「静岡県が新しく設置する大学院 (修士課程) だから」12 人 (3.1%)、「現在の研究テーマを継続したいから」3 人 (0.8%)、「地元貢献したいから」3 人 (0.8%) の順になっている。 ※「無回答」8 人 (2.1%)

静岡社会健康医学大学院大学への興味の理由(第1位)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	現在の研究テーマを継続したいから	3	0.8
2	キャリアアップに有利だから	46	12.0
3	修士の学位 (MPH) を取得したいから	20	5.2
4	もともと興味のある研究分野だから	51	13.3
5	新しい視点からの研究ができそうだから	60	15.6
6	社会の必要性に合致する研究内容だから	81	21.1
7	専門家として高度な知識・技術を身につけられそうだから	100	26.0
8	静岡県が新しく設置する大学院 (修士課程) だから	12	3.1
9	地元貢献したいから	3	0.8
	無回答	8	2.1
	N (%ベース)	384	100



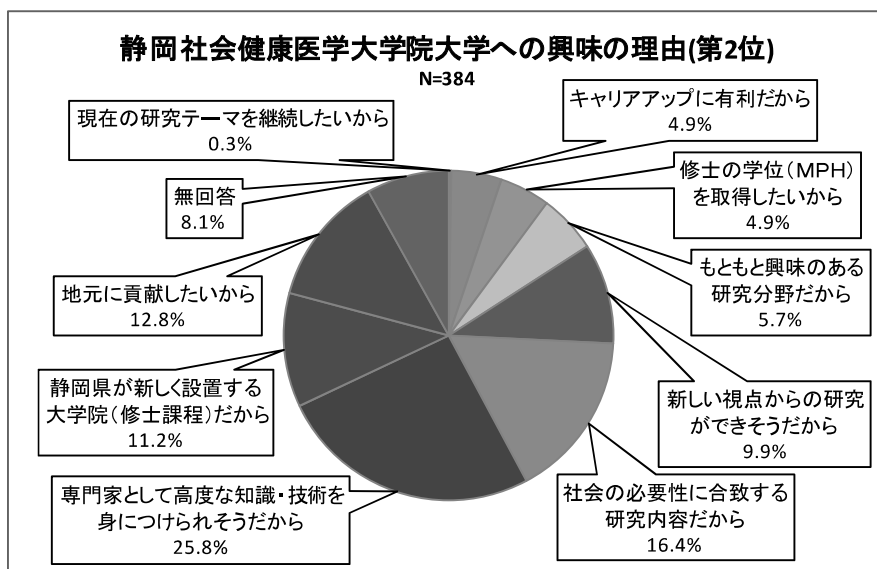
10-2 静岡社会健康医学大学院大学への興味の理由（第2位）について

「(8) 静岡社会健康医学大学院大学への興味について」にて興味を示した 384 人に、静岡社会健康医学大学院への興味の理由について調査した。

その結果は、「専門家として高度な知識・技術を身につけられそうだから」が 99 人 (25.8%) と最も多く、次いで「社会の必要性に合致する研究内容だから」63 人 (16.4%)、「地元貢献したいから」49 人 (12.8%)、「静岡県が新しく設置する大学院（修士課程）だから」43 人 (11.2%)、「新しい視点からの研究ができそうだから」38 人 (9.9%)、「もともと興味のある研究分野だから」22 人 (5.7%)、「キャリアアップに有利だから」19 人 (4.9%)、「修士の学位 (MPH) を取得したいから」19 人 (4.9%)、「現在の研究テーマを継続したいから」1 人 (0.3%) の順になっている。 ※「無回答」31 人 (8.1%)

静岡社会健康医学大学院大学への興味の理由(第2位)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	現在の研究テーマを継続したいから	1	0.3
2	キャリアアップに有利だから	19	4.9
3	修士の学位 (MPH) を取得したいから	19	4.9
4	もともと興味のある研究分野だから	22	5.7
5	新しい視点からの研究ができそうだから	38	9.9
6	社会の必要性に合致する研究内容だから	63	16.4
7	専門家として高度な知識・技術を身につけられそうだから	99	25.8
8	静岡県が新しく設置する大学院（修士課程）だから	43	11.2
9	地元貢献したいから	49	12.8
	無回答	31	8.1
	N (%ベース)	384	100



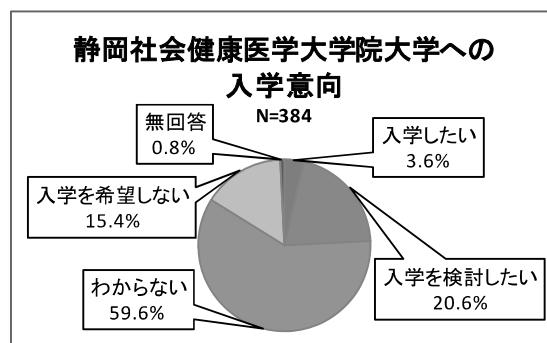
(11) 静岡社会健康医学大学院大学への入学意向について

「(8) 静岡社会健康医学大学院大学への興味について」にて興味を示した 384 人に、静岡社会健康医学大学院大学への入学意向について調査した。

その結果は、「入学したい」が 14 人 (3.6%)、「入学を検討したい」が 79 人 (20.6%) となり、興味を示した回答者のうち 93 人 (24.2%) が静岡社会健康医学大学院大学への入学意向を示している。 ※「無回答」3 人 (0.8%)

静岡社会健康医学大学院大学への入学意向

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	入学したい	14	3.6
2	入学を検討したい	79	20.6
3	わからない	229	59.6
4	入学を希望しない	59	15.4
	無回答	3	0.8
	N (%ベース)	384	100



3. 調査結果のまとめ

「(11) 静岡社会健康医学大学院大学への入学意向について」より、静岡社会健康医学大学院大学へ「入学したい」と回答した回答者は 14 人いることがわかる。これによって、静岡社会健康医学大学院大学の入学定員 10 名に対して 1.4 倍の入学意向を実数にて確保しているといえる。

また、静岡社会健康医学大学院大学へ「入学したい」、「入学を検討したい」と回答した回答者の合計は 93 人いることから、静岡社会健康医学大学院大学の入学定員 10 名に対して 9.3 倍の入学意向を確保しているといえる。

静岡社会健康医学大学院大学への入学意向

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	入学したい	14	3.6
2	入学を検討したい	79	20.6
3	わからない	229	59.6
4	入学を希望しない	59	15.4
	無回答	3	0.8
	N (% [^] -s)	384	100

以上の調査結果と、調査対象以外からの進学も考えられることから、静岡社会健康医学大学院大学の入学定員を満たす学生は十分に確保できるものとする。

調査票

問7. 大学院に入学する上で、どのような条件整備が必要と考えますか。
重視する項目を次の中から2つ選んでください。

- | | |
|-----------------------|--------------------|
| 1. 夜間・週末開講等授業時間帯の工夫 | 5. 修士論文を免除し課題研究とする |
| 2. 社会人特別選抜等の入学試験 | 6. 柔軟な研究指導体制 |
| 3. 奨学金等の金銭的支援 | 7. その他 () |
| 4. 修業年限の延長 (長期履修学修制度) | |

第1希望

第2希望

[(仮称) 静岡社会健康医学大学院大学 社会健康医学研究科 社会健康医学専攻 (修士課程) への入学について]
※ここからは(仮称)静岡社会健康医学大学院大学のリーフレット(概要資料)をご覧ください。ご回答ください。

問8. (仮称) 静岡社会健康医学大学院大学 社会健康医学研究科 社会健康医学専攻 (修士課程) について、
どのように考えますか。次の中から1つだけ選んでください。

1. 大変興味がある
2. 多少興味がある
3. 興味・関心がない

1, 2 を選ばれた方は問9 へお進みください。
3 を選ばれた方は問12 へお進みください。

問9. 問8で「大変興味がある」、「多少興味がある」と回答された方におたずねします。(仮称) 静岡社会健康医学大学院大学 社会健康医学研究科 社会健康医学専攻 (修士課程) で学べるどの分野に興味をお持ちですか。次の中から興味のある分野を1つだけ選んでください。

1. 疫学など公衆衛生学分野
2. 医療ビッグデータの解析・活用
3. ゲノム医学分野

問10. 問8で「大変興味がある」、「多少興味がある」と回答された方におたずねします。それは、どのような理由からですか。次の中から重視する項目を2つまで選んでください。

1. 現在の研究テーマを継続したいから
2. キャリアアップに有利だから
3. 修士の学位 (MPH) を取得したいから
4. もともと興味のある研究分野だから
5. 新しい視点からの研究ができそうだから
6. 社会の必要性に合致する研究内容だから
7. 専門家として高度な知識・技術を身につけられそうだから
8. 静岡県が新しく設置する大学院 (修士課程) だから
9. 地元に貢献したいから

第1理由

第2理由

問11. (仮称) 静岡社会健康医学大学院大学 社会健康医学研究科 社会健康医学専攻 (修士課程) に入学したいと考えますか。次の中から1つだけ選んでください。

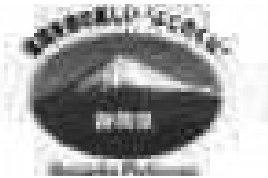
1. 入学したい
2. 入学を検討したい
3. わからない
4. 入学を希望しない

問12. (仮称) 静岡社会健康医学大学院大学 社会健康医学研究科 社会健康医学専攻 (修士課程) の設置計画について、ご意見、ご要望などをお聞かせください。

◆◆ 最後までご協力いただき、ありがとうございました ◆◆

静岡県健康福祉部健康福祉政策課 (担当: 田村)
〒420-8601 静岡県静岡市葵区追手町9番6号 電話: 054-221-2404

計画概要



(仮称) 静岡社会健康医学大学院大学 社会健康医学研究科 社会健康医学専攻

修士課程

大学院大学の 概要

- **開学時期** 令和3年(2021年)4月(予定)
- **修業年限** 2年
- **入学定員** 1学年10名(予定)
- **取得学位** 修士(社会健康医学)
英訳名称 Master of Public Health (MPH)

設置構想中

住民一人ひとりが心身ともに健康で、いきいきと社会生活を送るためには、健康長寿を支える要因に関して、十分な科学的な分析が必要です。

このため、静岡県では、従来の公衆衛生学を発展させた「社会健康医学」の教育・研究に取り組み、健康寿命の延伸に資する施策に反映させることを目的に、「知と人材の拠点」として(仮称)静岡社会健康医学大学院大学を設置します。

アドミッションポリシー

次のような意欲を持った者の応募を期待

- 健康と医療、環境に対する高い関心とリサーチマインドを持っている者
- 大学院修了後も、医療・介護等の現場に戻り、リーダーとして活躍したい、又は、健康寿命の延伸に資する研究を継続したいという意欲のある者

<対象として考えられる方>

- ・ 医師、歯科医師、薬剤師、看護師、その他医療専門職
- ・ 保健師、栄養士、介護職員
- ・ 医療データの解析を行う者
- ・ 社会健康医学の研究職を目指す者 など

カリキュラムの概要

公衆衛生の5つのコア領域を基盤とした教育

- 疫学 ■ 医療統計学 ■ 環境健康科学
- 行動医学・コミュニケーション学 ■ 健康管理学・健康政策学

- 健診データや診療情報など「医療ビッグデータ」の解析手法や活用方法を修得
- 「ゲノム医学」分野のゲノムコホート研究のデザインや解析手法などを修得
- 健診・医療・介護データなど静岡県の地域資源を活用した研究指導
- コミュニケーション能力の向上を図るための教育

国際的に通用するMPHと
同等の基本的能力を養う

養成する人材像

保健・医療・福祉領域の高度医療専門職



県内外の多くの健康増進に関わる拠点で、地域医療のリーダーとなり、住民により身近な場所で科学的な知見に基づくデータ分析や健康増進施策、疾病予防対策などを担う、医師や看護師などの「医療専門職」

健康づくり実務者



保健所などにおいて社会健康医学の知見を取り入れた健康指導などを行い、住民の健康寿命の更なる延伸に資する施策を担う、保健師や栄養士などの「健康づくり実務者」

健康寿命の延伸に取り組む研究者



今までの施策の体系化や医療データの要因分析、ゲノムコホートを通じたヒト生物学研究などを継続的に進めていく役割を担う、医師や企業(製薬、CRC、SMOなど)の「研究者」

※ 上記の内容は構想中のものであり、変更となる場合があります。

大学院大学の特徴

- 豊富な研究実績を持つ教授陣による少人数の授業
- 県、市町と連携して多様な研究フィールドを展開
- 夜間や土曜も授業を開講、遠隔授業やe-ラーニングも充実させ働きながら学べる環境
- 校舎内に大学院生一人ひとりのラーニングスペースを確保

初年度学費（他の大学院含む）

大学名・研究科名		入学金（円）	授業料（円）	その他（円）	初年度学費（円）
(仮称)静岡社会健康医学大学院大学 社会健康医学研究科	県内居住者	(予定) 141,000	(予定) 535,800	-	(予定) 676,800
	県外居住者	(予定) 366,600			(予定) 902,400
神奈川県立保健福祉大学大学院 ヘルスイノベーション研究科	県内居住者	282,000	535,800	-	817,800
	県外居住者	564,000			1,099,800
東京大学大学院 医学系研究科		282,000	535,800	-	817,800
慶應義塾大学大学院 健康マネジメント研究科		-	1,610,000	70,600	1,680,600
帝京大学大学院 公衆衛生学研究科		250,000	560,000	210,000	1,020,000
聖路加国際大学大学院 公衆衛生学研究科	1年コース	400,000	1,700,000	300,000	2,400,000
	2年コース		1,200,000		1,900,000
	3年コース		800,000		1,500,000

※(仮称)静岡社会健康医学大学院大学 社会健康医学研究科の学費は予定です。

※他の大学院の学費は各大学ホームページ掲載情報に基づきます。（令和元年6月時点）

※その他、諸会費が必要な場合があります。

アクセス

<電車>

J R 東海道新幹線・東海道線
静岡駅北口よりバス約20分

<車>

国道1号静岡バイパス

「唐瀬 I.C.」から約3分

新東名高速道路

「新静岡 I.C.」から約15分

東名高速道路

「清水 I.C.」から約20分

「静岡 I.C.」から約25分



<設置場所>

静岡市葵区北安東4丁目27番2号

（静岡県立総合病院 隣接）

最寄駅：J R 静岡駅（新幹線、東海道線）

<問い合わせ先>

静岡県健康福祉部健康福祉政策課

社会健康医学推進班（静岡県庁西館3階）

TEL:054-221-2404 FAX:054-221-3264

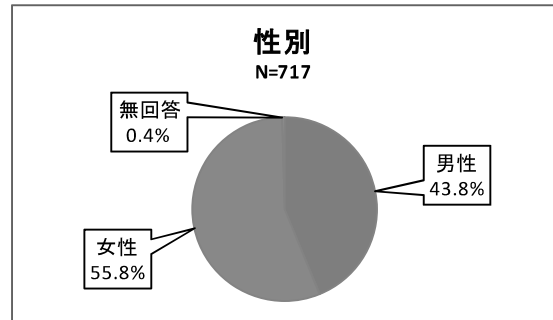
E-mail:kenfuku_kikaku@pref.shizuoka.lg.jp

※ 上記の内容は構想中のものであり、変更となる場合があります。

單純集計表

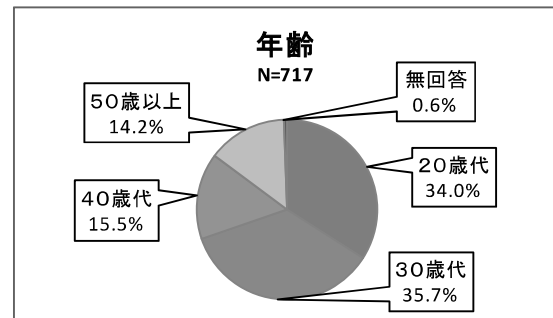
性別

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	男性	314	43.8
2	女性	400	55.8
	無回答	3	0.4
	N (%ベース)	717	100



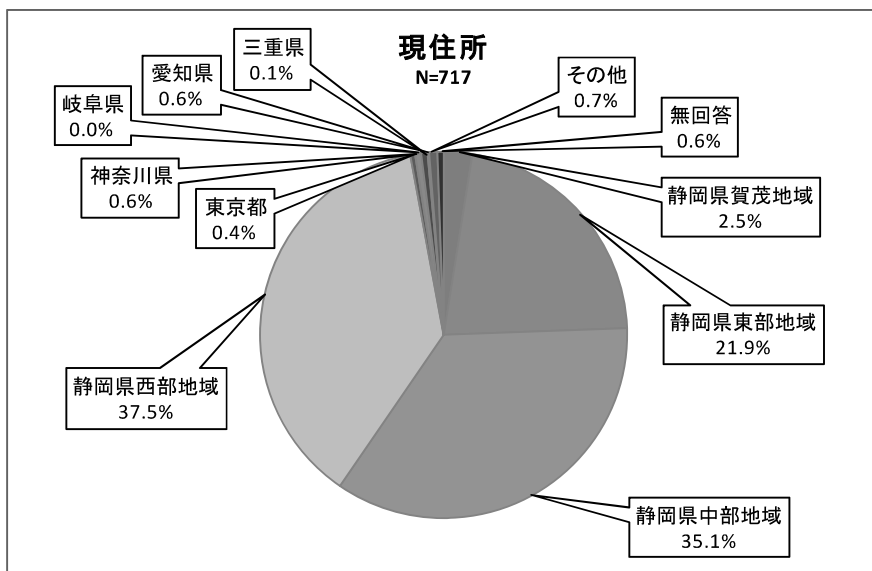
年齢

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	20歳代	244	34.0
2	30歳代	256	35.7
3	40歳代	111	15.5
4	50歳以上	102	14.2
	無回答	4	0.6
	N (%ベース)	717	100



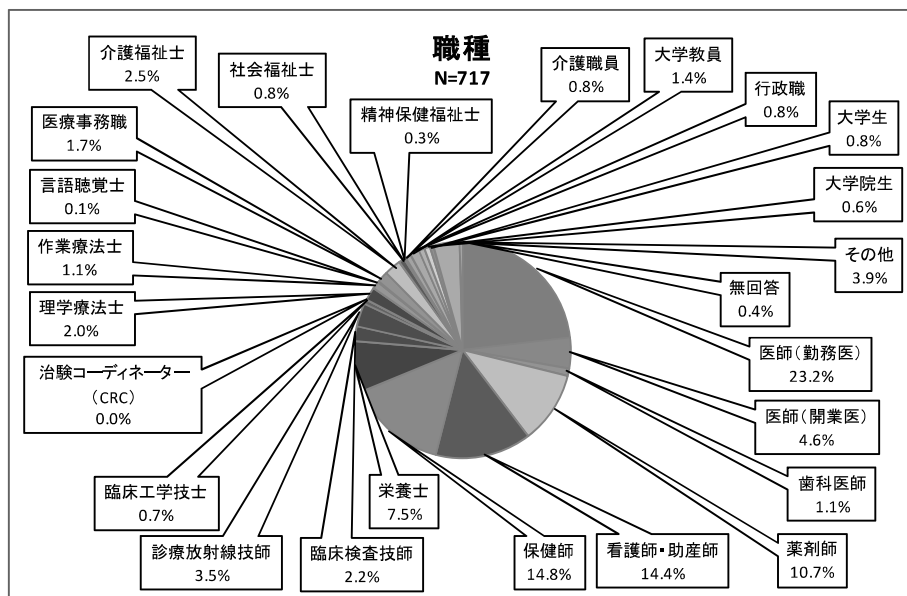
現住所

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	静岡県賀茂地域	18	2.5
2	静岡県東部地域	157	21.9
3	静岡県中部地域	252	35.1
4	静岡県西部地域	269	37.5
5	東京都	3	0.4
6	神奈川県	4	0.6
7	岐阜県	0	0.0
8	愛知県	4	0.6
9	三重県	1	0.1
10	その他	5	0.7
	無回答	4	0.6
	N (% [^] -ス)	717	100



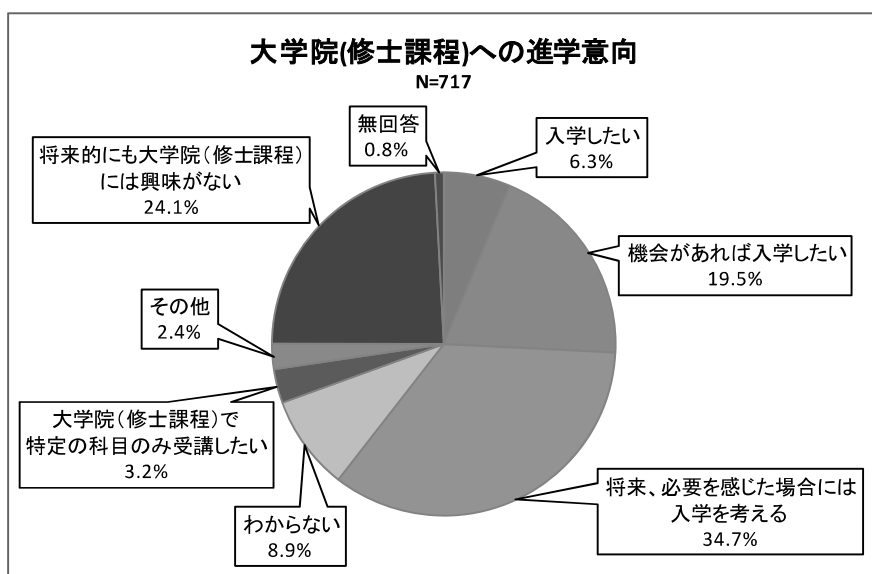
職種

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	医師（勤務医）	166	23.2
2	医師（開業医）	33	4.6
3	歯科医師	8	1.1
4	薬剤師	77	10.7
5	看護師・助産師	103	14.4
6	保健師	106	14.8
7	栄養士	54	7.5
8	臨床検査技師	16	2.2
9	診療放射線技師	25	3.5
10	臨床工学技士	5	0.7
11	治験コーディネーター（CRC）	0	0.0
12	理学療法士	14	2.0
13	作業療法士	8	1.1
14	言語聴覚士	1	0.1
15	医療事務職	12	1.7
16	介護福祉士	18	2.5
17	社会福祉士	6	0.8
18	精神保健福祉士	2	0.3
19	介護職員	6	0.8
20	大学教員	10	1.4
21	行政職	6	0.8
22	大学生	6	0.8
23	大学院生	4	0.6
24	その他	28	3.9
	無回答	3	0.4
	N（%ベース）	717	100



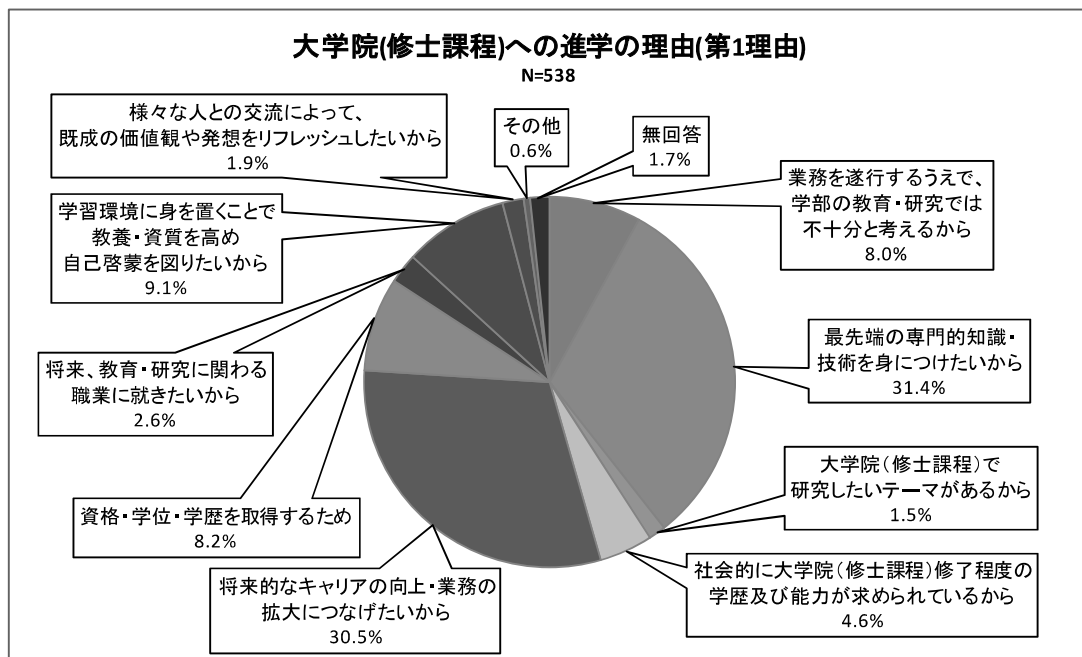
大学院(修士課程)への進学意向

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	入学したい	45	6.3
2	機会があれば入学したい	140	19.5
3	将来、必要を感じた場合には入学を考える	249	34.7
4	わからない	64	8.9
5	大学院(修士課程)で特定の科目のみ受講したい	23	3.2
6	その他	17	2.4
7	将来的にも大学院(修士課程)には興味がない	173	24.1
	無回答	6	0.8
	N (%ベース)	717	100



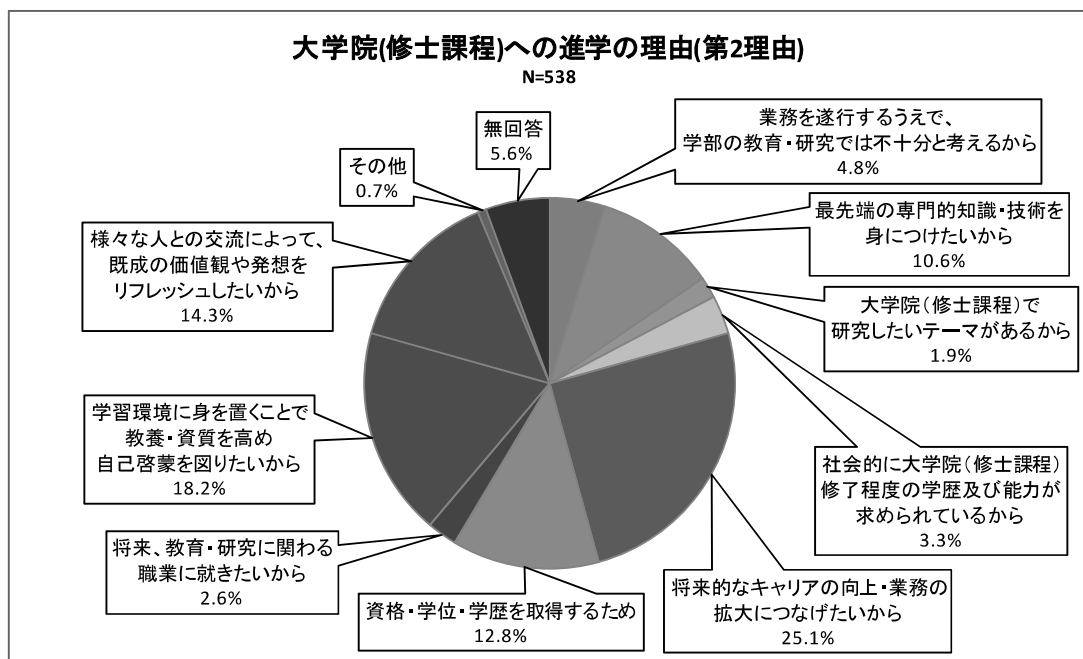
大学院(修士課程)への進学理由(第1理由)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	業務を遂行するうえで、学部教育・研究では不十分と考えるから	43	8.0
2	最先端の専門的知識・技術を身につけたいから	169	31.4
3	大学院(修士課程)で研究したいテーマがあるから	8	1.5
4	社会的に大学院(修士課程)修了程度の学歴及び能力が求められているから	25	4.6
5	将来的なキャリアの向上・業務の拡大につなげたいから	164	30.5
6	資格・学位・学歴を取得するため	44	8.2
7	将来、教育・研究に関わる職業に就きたいから	14	2.6
8	学習環境に身を置くことで教養・資質を高め自己啓蒙を図りたいから	49	9.1
9	様々な人との交流によって、既成の価値観や発想をリフレッシュしたいから	10	1.9
10	その他	3	0.6
	無回答	9	1.7
	N (%ベース)	538	100



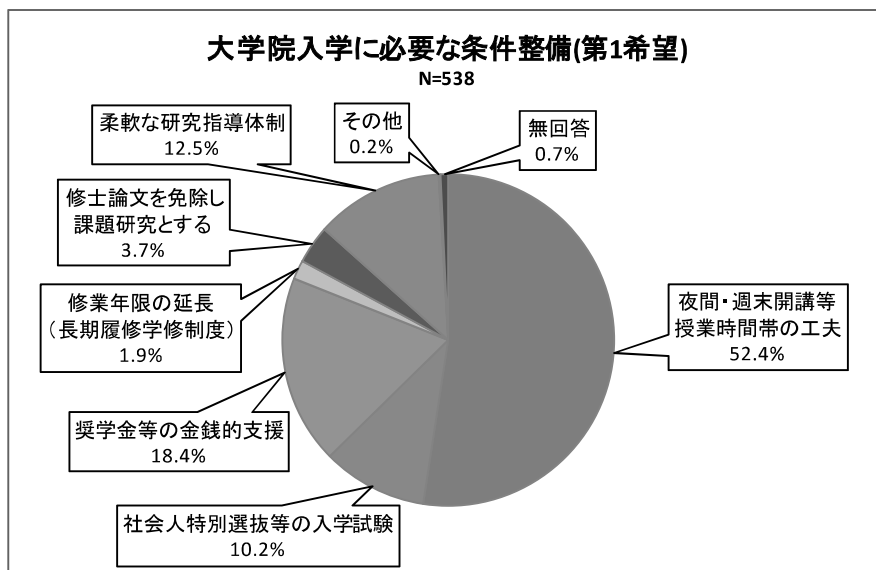
大学院(修士課程)への進学理由(第2理由)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	業務を遂行するうえで、学部教育・研究では不十分と考えるから	26	4.8
2	最先端の専門的知識・技術を身につけたいから	57	10.6
3	大学院(修士課程)で研究したいテーマがあるから	10	1.9
4	社会的に大学院(修士課程)修了程度の学歴及び能力が求められているから	18	3.3
5	将来的なキャリアの向上・業務の拡大につなげたいから	135	25.1
6	資格・学位・学歴を取得するため	69	12.8
7	将来、教育・研究に関わる職業に就きたいから	14	2.6
8	学習環境に身を置くことで教養・資質を高め自己啓蒙を図りたいから	98	18.2
9	様々な人との交流によって、既成の価値観や発想をリフレッシュしたいから	77	14.3
10	その他	4	0.7
	無回答	30	5.6
	N (%ベース)	538	100



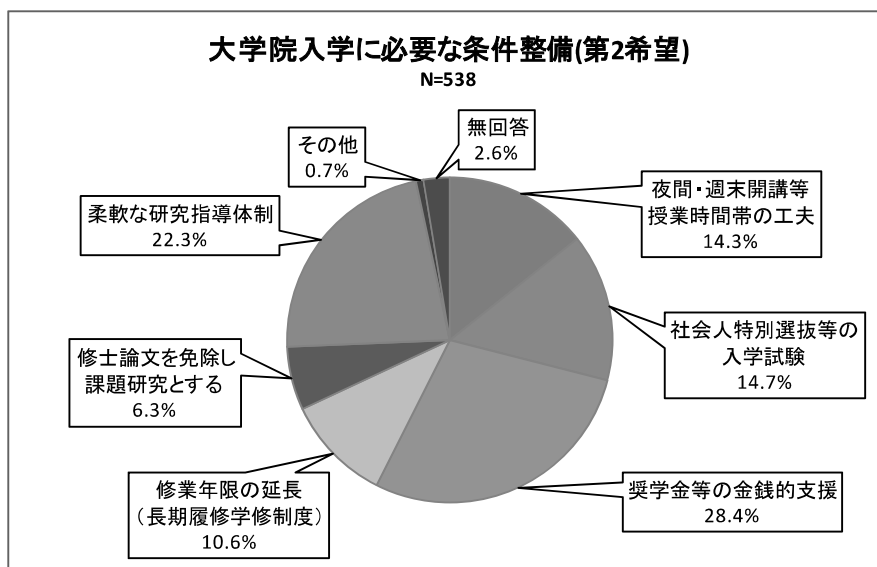
大学院入学に必要な条件整備（第1希望）

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	夜間・週末開講等授業時間帯の工夫	282	52.4
2	社会人特別選抜等の入学試験	55	10.2
3	奨学金等の金銭的支援	99	18.4
4	修業年限の延長（長期履修学修制度）	10	1.9
5	修士論文を免除し課題研究とする	20	3.7
6	柔軟な研究指導体制	67	12.5
7	その他	1	0.2
	無回答	4	0.7
	N（%ベース）	538	100



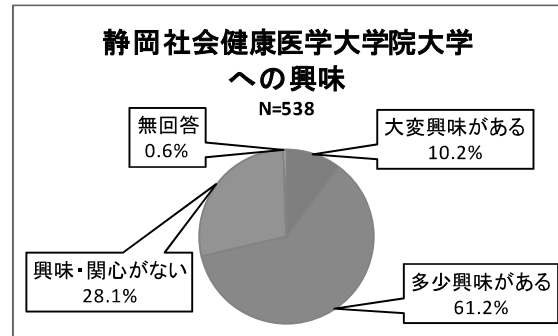
大学院入学に必要な条件整備(第2希望)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	夜間・週末開講等授業時間帯の工夫	77	14.3
2	社会人特別選抜等の入学試験	79	14.7
3	奨学金等の金銭的支援	153	28.4
4	修業年限の延長(長期履修学修制度)	57	10.6
5	修士論文を免除し課題研究とする	34	6.3
6	柔軟な研究指導体制	120	22.3
7	その他	4	0.7
	無回答	14	2.6
	N (%ベース)	538	100



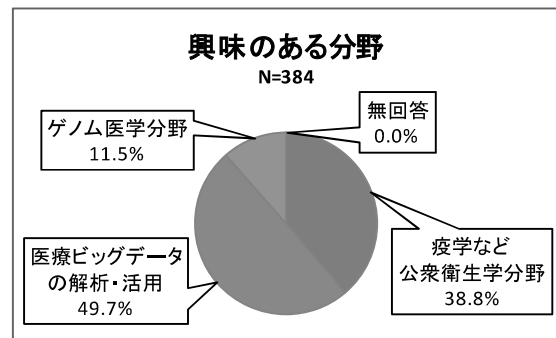
静岡社会健康医学大学院大学への興味

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	大変興味がある	55	10.2
2	多少興味がある	329	61.2
3	興味・関心がない	151	28.1
	無回答	3	0.6
	N (%ベース)	538	100



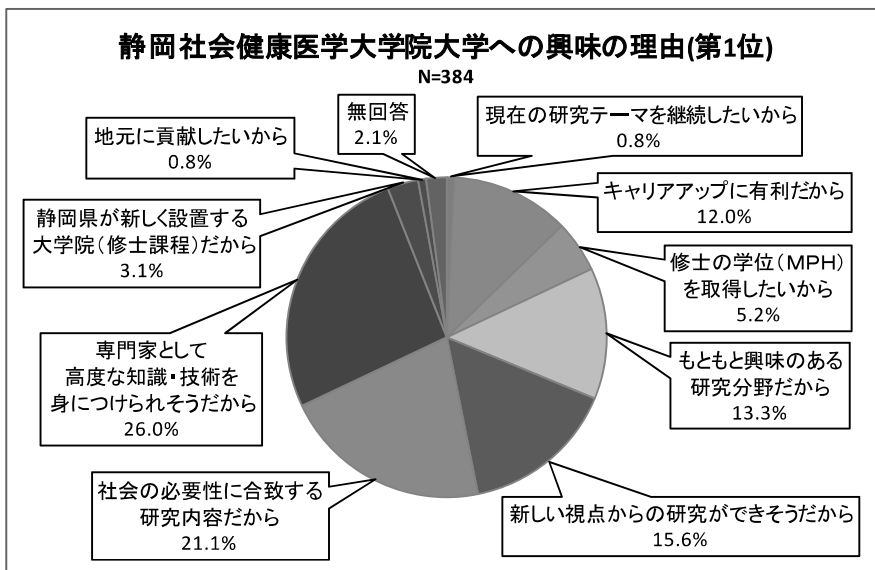
興味のある分野

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	疫学など公衆衛生学分野	149	38.8
2	医療ビッグデータの解析・活用	191	49.7
3	ゲノム医学分野	44	11.5
	無回答	0	0.0
	N (%ベース)	384	100



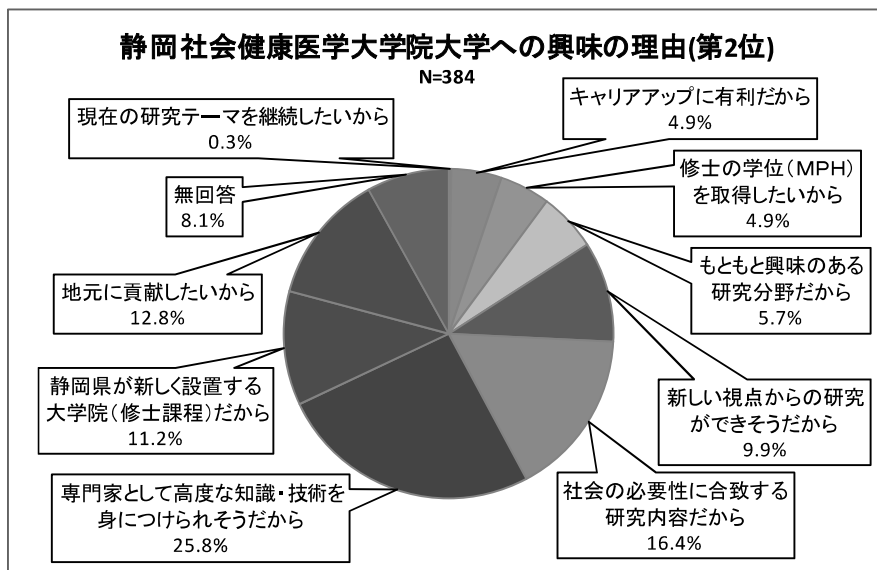
静岡社会健康医学大学院大学への興味の理由(第1位)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	現在の研究テーマを継続したいから	3	0.8
2	キャリアアップに有利だから	46	12.0
3	修士の学位 (MPH) を取得したいから	20	5.2
4	もともと興味のある研究分野だから	51	13.3
5	新しい視点からの研究ができそうだから	60	15.6
6	社会の必要性に合致する研究内容だから	81	21.1
7	専門家として高度な知識・技術を身につけられそうだから	100	26.0
8	静岡県が新しく設置する大学院 (修士課程) だから	12	3.1
9	地元貢献したいから	3	0.8
	無回答	8	2.1
	N (%ベース)	384	100



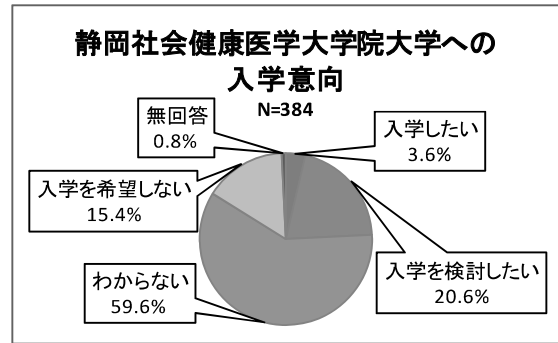
静岡社会健康医学大学院大学への興味の理由(第2位)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	現在の研究テーマを継続したいから	1	0.3
2	キャリアアップに有利だから	19	4.9
3	修士の学位(MPH)を取得したいから	19	4.9
4	もともと興味のある研究分野だから	22	5.7
5	新しい視点からの研究ができそうだから	38	9.9
6	社会の必要性に合致する研究内容だから	63	16.4
7	専門家として高度な知識・技術を身につけられそうだから	99	25.8
8	静岡県が新しく設置する大学院(修士課程)だから	43	11.2
9	地元貢献したいから	49	12.8
	無回答	31	8.1
	N (%ベース)	384	100



静岡社会健康医学大学院大学への入学意向

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	入学したい	14	3.6
2	入学を検討したい	79	20.6
3	わからない	229	59.6
4	入学を希望しない	59	15.4
	無回答	3	0.8
	N (%ベース)	384	100



資料 4

近隣都県の公衆衛生大学院の学生納付金

(単位：円)

大学名・研究科名		入学金 (A)	授業料 (B)	その他 (C)	初年度学費 (A+B+C)
静岡社会健康医学大学院大学 社会健康医学研究科	県内の者	141,000	535,800	—	676,800
	県外の者	366,600			902,400
東京大学大学院 医学系研究科		282,000	535,800	—	817,800
東京医科歯科大学大学院 医歯学総合研究科					
名古屋大学大学院 医学系研究科					
神奈川県立保健福祉大学大学院 ヘルスイノベーション研究科	県内居住者	282,000	535,800	—	817,800
	県外居住者	564,000			1,099,800
慶應義塾大学大学院 健康マネジメント研究科		—	1,610,000	70,600	1,680,600
帝京大学大学院 公衆衛生学研究科		250,000	560,000	210,000	1,020,000
聖路加国際大学大学院 公衆衛生学研究科	1年コース	400,000	1,700,000	300,000	2,400,000
	2年コース		1,200,000		1,900,000
	3年コース		800,000		1,500,000
【参考】 静岡県立大学大学院 静岡文化芸術大学大学院	県内の者 県外の者	141,000 366,600	535,800	—	676,800 902,400

静岡社会健康医学大学院大学社会健康医学研究科
社会健康医学専攻(修士課程)(仮称)の修了生に対する
採用意向に関するアンケート調査報告

令和元年10月

一般財団法人 日本開発構想研究所

静岡社会健康医学大学院大学社会健康医学研究科社会健康医学専攻(修士課程)(仮称)の
修了生に対する採用意向に関するアンケート調査報告

1. 調査概要

(1) 調査目的

静岡県が2021年4月に静岡社会健康医学大学院大学(仮称)を設置する構想に向けて、静岡社会健康医学大学院大学社会健康医学研究科社会健康医学専攻(修士課程)(仮称)(以下、静岡社会健康医学大学院大学とする。)の修了生の就職が見込まれる、静岡県を中心に主に近隣都県に所在する団体等の採用担当者にアンケートを実施し、静岡社会健康医学大学院大学社会健康医学研究科社会健康医学専攻(修士課程)(仮称)の修了生に対する団体等の採用意向を把握することを目的とする。

(2) 調査対象

静岡社会健康医学大学院大学の修了生の就職が見込まれる病院・介護事業所等医療関係機関、行政機関、健康保険組合、大学、企業等219団体等の採用担当者にアンケートを実施。

(3) 調査方法

静岡社会健康医学大学院大学の修了生の就職が見込まれる病院・介護事業所等医療関係機関、行政機関、健康保険組合、大学、企業等219団体等の採用担当者にアンケート用紙及び静岡社会健康医学大学院大学の概要を示したリーフレットを送付し、アンケートを実施した。回答用紙は一般財団法人日本開発構想研究所へ病院・介護事業所等医療関係機関、行政機関、健康保険組合、大学、企業等から直接郵送、または、静岡県を通じて回収した。

その結果、118件の有効回答を得た。集計結果より、静岡社会健康医学大学院大学の修了者に対する採用意向を分析した。

(4) 調査実施期間

令和元年7月～令和元年10月

(5) 有効回収率等

配布数：219件 有効回答数：118件 有効回収率：約53.9%

※静岡県が設置を構想している静岡社会健康医学大学院大学社会健康医学研究科社会健康医学専攻(修士課程)は仮称であるが、本文中ではその旨の表示を省略した。また、1研究科1専攻1課程での設置構想であることから、研究科名称、専攻名称、課程名称についても省略し、単に静岡社会健康医学大学院大学として表記した。

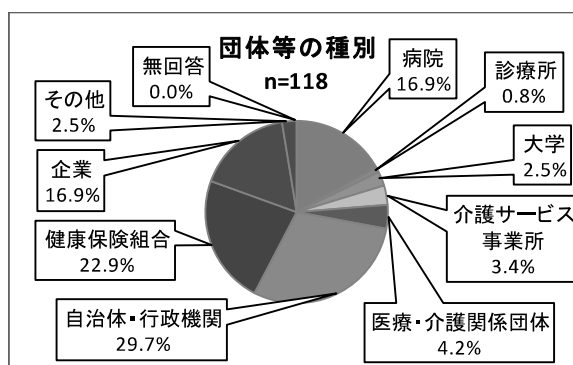
2. 調査結果

(1) 団体等の種別について

団体等の種別について調査した結果、回答のあった団体等 118 件のうち、「自治体・行政機関」が 35 件 (29.7%) と最も多く、次いで「健康保険組合」27 件 (22.9%)、「病院」20 件 (16.9%)、「企業」20 件 (16.9%)、「医療・介護関係団体」5 件 (4.2%)、「介護サービス事業所」4 件 (3.4%)、「大学」3 件 (2.5%)、「その他」3 件 (2.5%)、「診療所」1 件 (0.8%) の順になっている。

団体等の種別

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	病院	20	16.9
2	診療所	1	0.8
3	大学	3	2.5
4	介護サービス事業所	4	3.4
5	医療・介護関係団体	5	4.2
6	自治体・行政機関	35	29.7
7	健康保険組合	27	22.9
8	企業	20	16.9
9	その他	3	2.5
	無回答	0	0.0
	N (%ベ-ス)	118	100

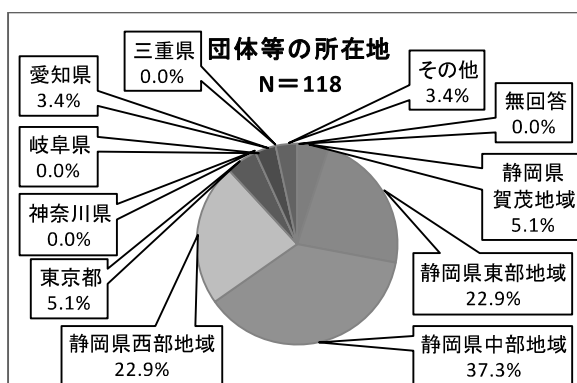


(2) 団体等の所在地について

団体等の所在地について調査した結果、回答のあった団体等 118 件のうち、「静岡県中部地域」が 44 件 (37.3%) と最も多く、次いで「静岡県東部地域」27 件 (22.9%)、「静岡県西部地域」27 件 (22.9%)、「静岡県賀茂地域」6 件 (5.1%)、「東京都」6 件 (5.1%)、「愛知県」4 件 (3.4%)、「その他」4 件 (3.4%) の順になっている。

団体等の所在地

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	静岡県賀茂地域	6	5.1
2	静岡県東部地域	27	22.9
3	静岡県中部地域	44	37.3
4	静岡県西部地域	27	22.9
5	東京都	6	5.1
6	神奈川県	0	0.0
7	岐阜県	0	0.0
8	愛知県	4	3.4
9	三重県	0	0.0
10	その他	4	3.4
	無回答	0	0.0
	N (%ベ-ス)	118	100

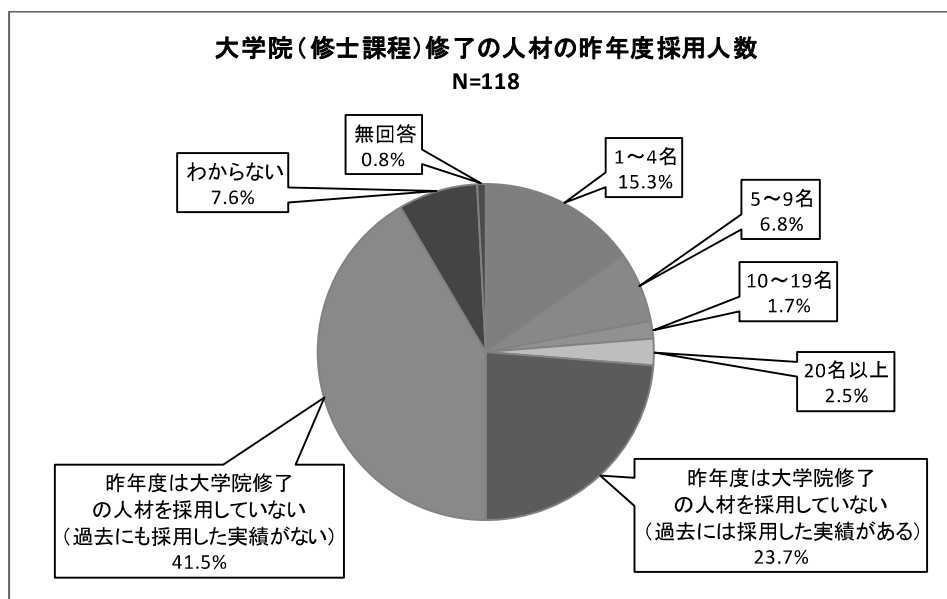


(3) 大学院（修士課程）修了の人材の昨年度採用人数について

大学院（修士課程）修了の人材の昨年度採用人数について調査した結果、回答のあった団体等 118 件のうち、「昨年度は大学院修了の人材を採用していない（過去にも採用した実績がない）」が 49 件（41.5%）と最も多く、次いで「昨年度は大学院修了の人材を採用していない（過去には採用した実績がある）」28 件（23.7%）、「1～4 名」18 件（15.3%）、「わからない」9 件（7.6%）、「5～9 名」8 件（6.8%）、「20 名以上」3 件（2.5%）、「10～19 名」2 件（1.7%）の順になっている。 ※「無回答」1 件（0.8%）

大学院（修士課程）修了の人材の昨年度採用人数

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	1～4名	18	15.3
2	5～9名	8	6.8
3	10～19名	2	1.7
4	20名以上	3	2.5
5	昨年度は大学院修了の人材を採用していない（過去には採用した実績がある）	28	23.7
6	昨年度は大学院修了の人材を採用していない（過去にも採用した実績がない）	49	41.5
7	わからない	9	7.6
	無回答	1	0.8
	N（%ベース）	118	100



(4) 大学院（修士課程）修了の人材を採用した理由について

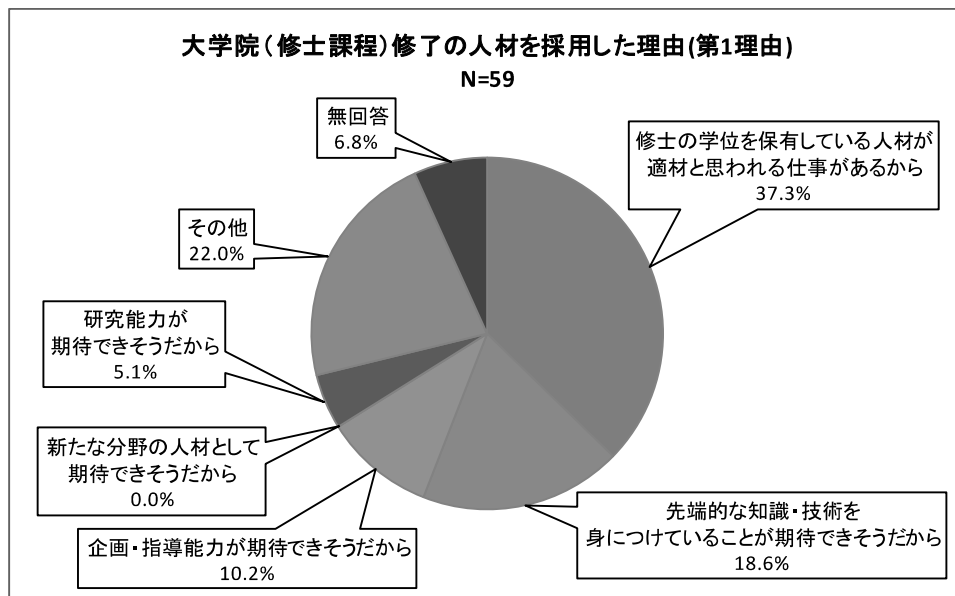
4-1 大学院（修士課程）修了の人材を採用した理由（第1理由）について

「(3) 大学院（修士課程）修了の人材の昨年度採用人数について」にて「昨年度は大学院修了の人材を採用していない（過去にも採用した実績がない）」、「わからない」と回答した58件、無回答1件を除く59件に、大学院（修士課程）修了の人材を採用した理由について調査した。

その結果は、「修士の学位を保有している人材が適材と思われる仕事があるから」が22件（37.3%）と最も多く、次いで「その他」13件（22.0%）、「先端的な知識・技術を身につけていることが期待できそうだから」11件（18.6%）、「企画・指導能力が期待できそうだから」6件（10.2%）、「研究能力が期待できそうだから」3件（5.1%）の順になっている。 ※「無回答」4件（6.8%）

大学院（修士課程）修了の人材を採用した理由(第1理由)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	修士の学位を保有している人材が適材と思われる仕事があるから	22	37.3
2	先端的な知識・技術を身につけていることが期待できそうだから	11	18.6
3	企画・指導能力が期待できそうだから	6	10.2
4	新たな分野の人材として期待できそうだから	0	0.0
5	研究能力が期待できそうだから	3	5.1
6	その他	13	22.0
	無回答	4	6.8
	N（%ベース）	59	100



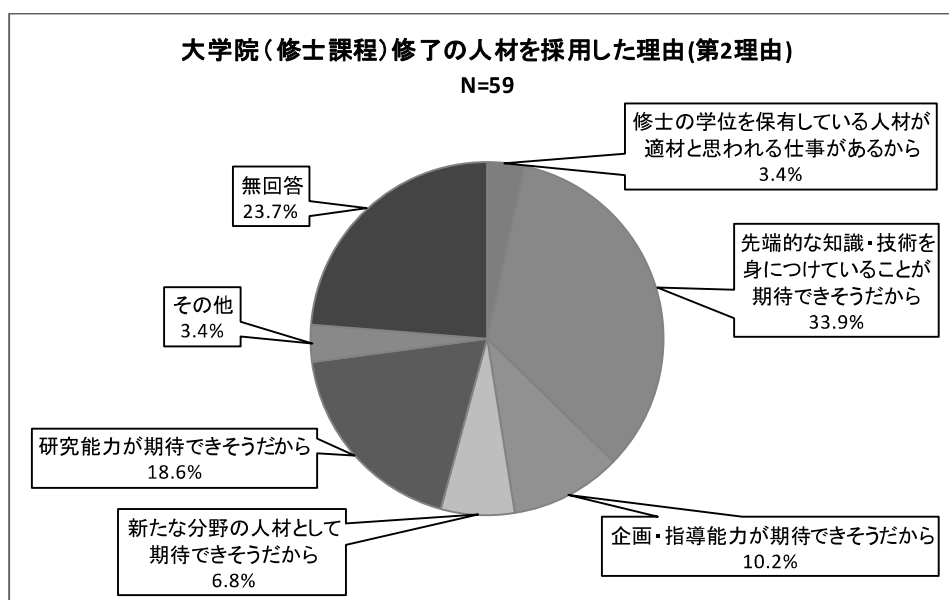
4-2 大学院（修士課程）修了の人材を採用した理由（第2理由）について

「(3) 大学院（修士課程）修了の人材の昨年度採用人数について」にて「昨年度は大学院修了の人材を採用していない（過去にも採用した実績がない）」、「わからない」と回答した 58 件、無回答 1 件を除く 59 件に、大学院（修士課程）修了の人材を採用した理由について調査した。

その結果は、「先端的な知識・技術を身につけていることが期待できそうだから」が 20 件（33.9%）と最も多く、次いで「研究能力が期待できそうだから」11 件（18.6%）、「企画・指導能力が期待できそうだから」6 件（10.2%）、「新たな分野の人材として期待できそうだから」4 件（6.8%）、「修士の学位を保有している人材が適材と思われる仕事があるから」2 件（3.4%）、「その他」2 件（3.4%）の順になっている。 ※「無回答」14 件（23.7%）

大学院（修士課程）修了の人材を採用した理由(第2理由)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	修士の学位を保有している人材が適材と思われる仕事があるから	2	3.4
2	先端的な知識・技術を身につけていることが期待できそうだから	20	33.9
3	企画・指導能力が期待できそうだから	6	10.2
4	新たな分野の人材として期待できそうだから	4	6.8
5	研究能力が期待できそうだから	11	18.6
6	その他	2	3.4
	無回答	14	23.7
	N (%へ-ス)	59	100

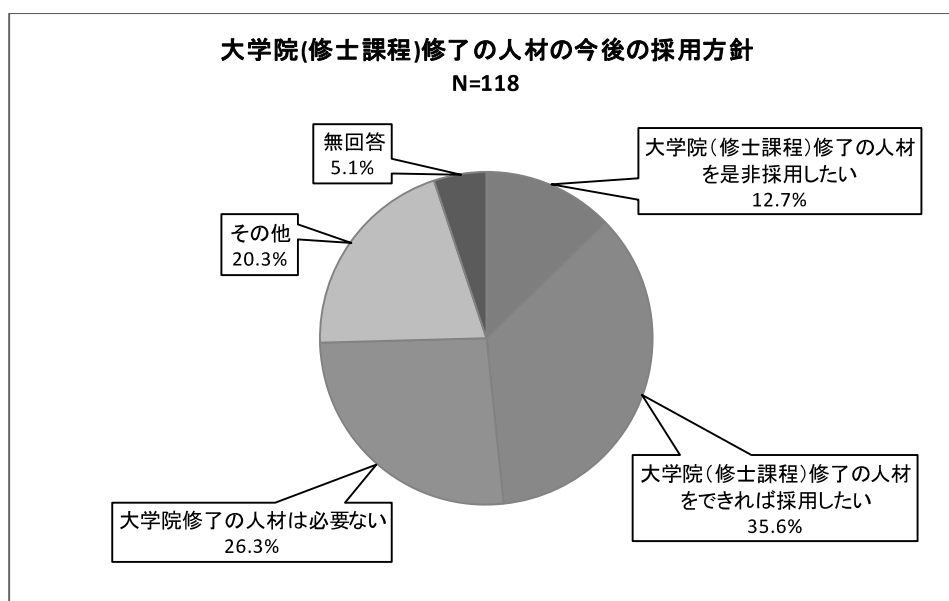


(5) 大学院（修士課程）修了の人材の今後の採用方針について

大学院（修士課程）修了の人材の今後の採用方針について調査したところ、回答のあった団体等 118 件のうち、「大学院（修士課程）修了の人材をできれば採用したい」が 42 件（35.6%）と最も多く、次いで「大学院修了の人材は必要ない」31 件（26.3%）、「その他」24 件（20.3%）、「大学院（修士課程）修了の人材を是非採用したい」15 件（12.7%）の順になっている。 ※「無回答」6 件（5.1%）

大学院(修士課程)修了の人材の今後の採用方針

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	大学院（修士課程）修了の人材を是非採用したい	15	12.7
2	大学院（修士課程）修了の人材をできれば採用したい	42	35.6
3	大学院修了の人材は必要ない	31	26.3
4	その他	24	20.3
	無回答	6	5.1
	N（%ベース）	118	100

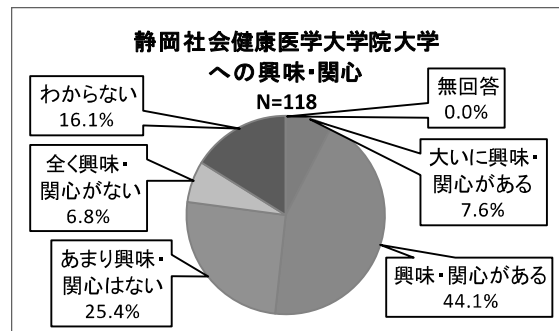


(6) 静岡社会健康医学大学院大学への興味・関心について

静岡社会健康医学大学院大学への興味・関心について調査したところ、回答のあった団体等 118 件のうち、「大いに興味・関心がある」と回答したのは 9 件（7.6%）である。また、「興味・関心がある」52 件（44.1%）との回答があり、「大いに興味・関心がある」、「興味・関心がある」の合計 61 件（51.7%）が静岡社会健康医学大学院大学に興味を示している。

静岡社会健康医学大学院大学への興味・関心

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	大いに興味・関心がある	9	7.6
2	興味・関心がある	52	44.1
3	あまり興味・関心はない	30	25.4
4	全く興味・関心がない	8	6.8
5	わからない	19	16.1
	無回答	0	0.0
	N (%ベース)	118	100



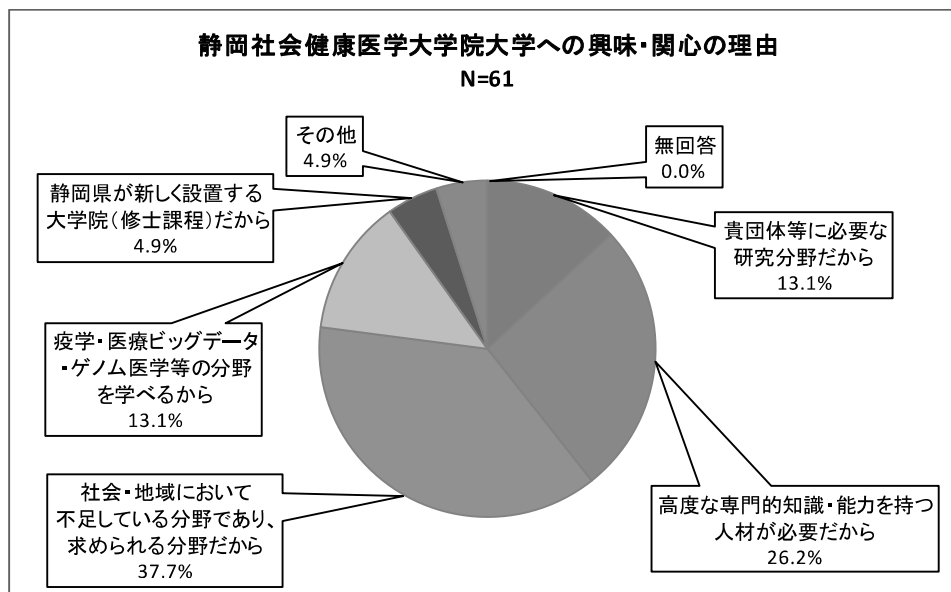
(7) 静岡社会健康医学大学院大学への興味・関心の理由について

「(6) 静岡社会健康医学大学院大学への興味・関心について」にて静岡社会健康医学大学院大学に興味・関心を示した 61 件に、興味・関心の理由について調査した。

その結果、「社会・地域において不足している分野であり、求められる分野だから」が 23 件 (37.7%) と最も多く、次いで「高度な専門的知識・能力を持つ人材が必要だから」16 件 (26.2%)、「貴団体等に必要な研究分野だから」8 件 (13.1%)、「疫学・医療ビッグデータ・ゲノム医学等の分野を学べるから」8 件 (13.1%)、「静岡県が新しく設置する大学院 (修士課程) だから」3 件 (4.9%)、「その他」3 件 (4.9%) の順になっている。

静岡社会健康医学大学院大学への興味・関心の理由

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	貴団体等に必要な研究分野だから	8	13.1
2	高度な専門的知識・能力を持つ人材が必要だから	16	26.2
3	社会・地域において不足している分野であり、求められる分野だから	23	37.7
4	疫学・医療ビッグデータ・ゲノム医学等の分野を学べるから	8	13.1
5	静岡県が新しく設置する大学院 (修士課程) だから	3	4.9
6	その他	3	4.9
	無回答	0	0.0
	N (%ベース)	61	100



(8) 静岡社会健康医学大学院大学修了者の採用意向について

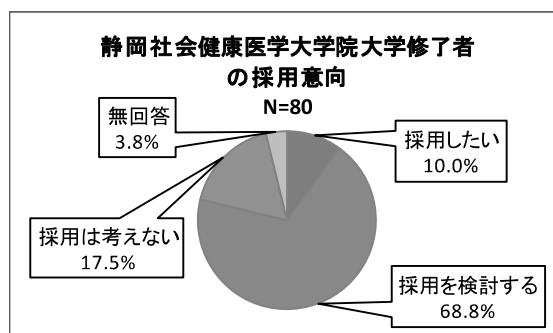
「(6) 静岡社会健康医学大学院大学への興味・関心について」にて「あまり興味・関心はない」、「全く興味・関心がない」と回答した 38 件を除く 80 件に、静岡社会健康医学大学院大学修了者の採用意向について調査した。

その結果は、「採用を検討する」が 55 件 (68.8%) と最も多く、次いで「採用は考えない」14 件 (17.5%)、「採用したい」8 件 (10.0%) の順になっている。 ※無回答 3 件 (3.8%)

なお、「採用したい」、「採用を検討する」の肯定的な回答を合算すると 63 件 (78.8%) となっている。

静岡社会健康医学大学院大学修了者の採用意向

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	採用したい	8	10.0
2	採用を検討する	55	68.8
3	採用は考えない	14	17.5
	無回答	3	3.8
	N (%ベース)	80	100

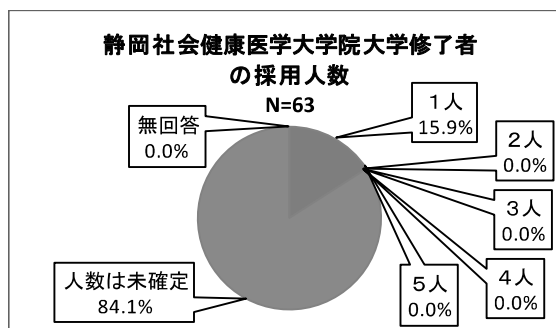


(9) 静岡社会健康医学大学院大学修了者の採用人数について

「(8) 静岡社会健康医学大学院大学修了者の採用意向について」にて肯定的な採用意向を示した 63 件に対して、静岡社会健康医学大学院大学修了者の将来的な採用人数について調査したところ、「人数は未確定」が 53 件 (84.1%) と最も多く、次いで「1人」10 件 (15.9%) の順になっている。

静岡社会健康医学大学院大学修了者の採用人数

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	1人	10	15.9
2	2人	0	0.0
3	3人	0	0.0
4	4人	0	0.0
5	5人	0	0.0
6	人数は未確定	53	84.1
	無回答	0	0.0
	N (%ベース)	63	100



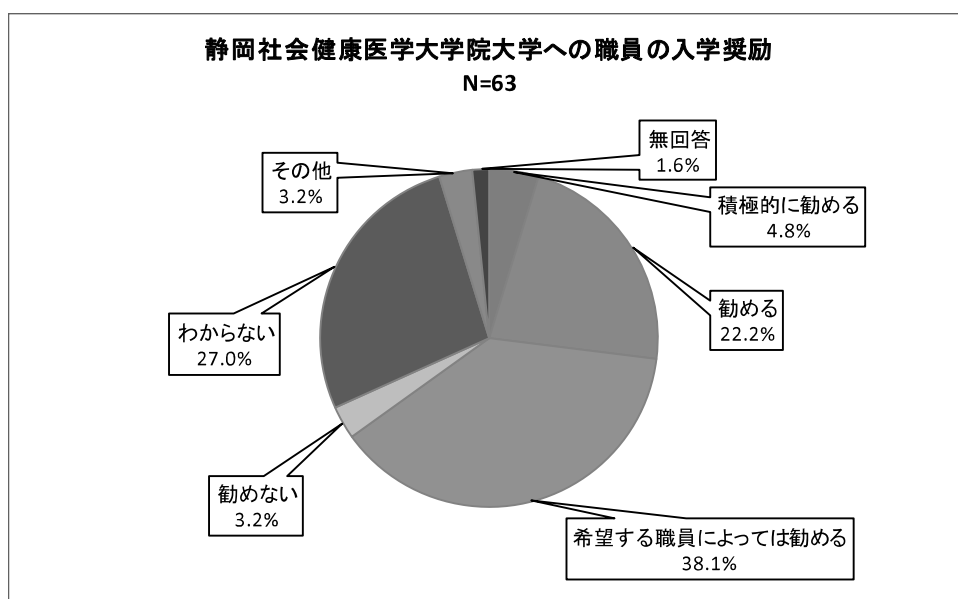
(10) 職員が静岡社会健康医学大学院大学で学びたいと希望した場合の入学奨励について

「(8) 静岡社会健康医学大学院大学修了者の採用意向について」にて肯定的な採用意向を示した 63 件に対して、職員側から静岡社会健康医学大学院大学で学びたい（学費は職員の自己負担として）と申し入れがあった場合の入学奨励について調査した。

その結果、回答のあった団体等 63 件のうち、「希望する職員によっては勧める」が 24 件（38.1%）と最も多く、次いで「わからない」17 件（27.0%）、「勧める」14 件（22.2%）、「積極的に勧める」3 件（4.8%）、「勧めない」2 件（3.2%）、「その他」2 件（3.2%）の順になっている。※「無回答」1 件（1.6%）

静岡社会健康医学大学院大学への職員の入学奨励

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	積極的に勧める	3	4.8
2	勧める	14	22.2
3	希望する職員によっては勧める	24	38.1
4	勧めない	2	3.2
5	わからない	17	27.0
6	その他	2	3.2
	無回答	1	1.6
	N (%ベース)	63	100



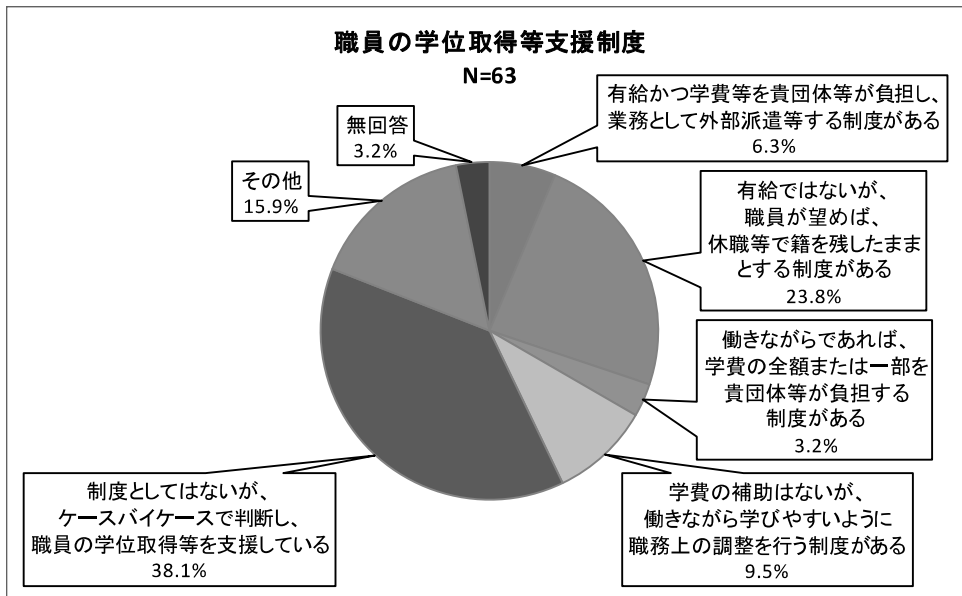
(11) 職員の学位取得等支援制度について

「(8) 静岡社会健康医学大学院大学修了者の採用意向について」にて肯定的な採用意向を示した 63 件に対して、職員の学位取得等について支援を行う制度があるかどうかについて調査した。

その結果、「制度としてはないが、ケースバイケースで判断し、職員の学位取得等を支援している」が 24 件 (38.1%) と最も多く、次いで「有給ではないが、職員が望めば、休職等で籍を残したままとする制度がある」15 件 (23.8%)、「その他」10 件 (15.9%)、「学費の補助はないが、働きながら学びやすいように職務上の調整を行う制度がある」6 件 (9.5%)、「有給かつ学費等を貴団体等が負担し、業務として外部派遣等する制度がある」4 件 (6.3%)、「働きながらであれば、学費の全額または一部を貴団体等が負担する制度がある」2 件 (3.2%) の順になっている。※「無回答」2 件 (3.2%)

職員の学位取得等支援制度

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	有給かつ学費等を貴団体等が負担し、業務として外部派遣等する制度がある	4	6.3
2	有給ではないが、職員が望めば、休職等で籍を残したままとする制度がある	15	23.8
3	働きながらであれば、学費の全額または一部を貴団体等が負担する制度がある	2	3.2
4	学費の補助はないが、働きながら学びやすいように職務上の調整を行う制度がある	6	9.5
5	制度としてはないが、ケースバイケースで判断し、職員の学位取得等を支援している	24	38.1
6	その他	10	15.9
	無回答	2	3.2
	N (%ベース)	63	100



3. 調査結果のまとめ

静岡社会健康医学大学院大学の修了生に対する将来的な採用意向人数の集計にあたっては、「(8) 静岡社会健康医学大学院大学修了者の採用意向について」の肯定的な回答数と、「(9) 静岡社会健康医学大学院大学修了者の採用人数について」の将来的な採用人数の各選択肢（「1人」、「2人」、「3人」、「4人」、「5人以上」、「人数は未確定（※）」）を乗じ、これを合計し、算出した。

※「人数は未確定」とは、「(8) 静岡社会健康医学大学院大学修了者の採用意向について」にて、「採用したい」、「採用を検討する」と回答し将来的な採用意向は示すが、アンケートの時点では将来的な採用人数について確定していないものである。したがって、本調査では「人数は未確定」の将来的な採用人数を最低数である「1人」として計算した。

下記の表より、静岡社会健康医学大学院大学の修了生に対する採用意向人数は「採用したい」のみで合計した場合、8人となり、入学定員は10人であるため、0.8倍となる。

また、「採用したい」「採用を検討する」を合計した場合、採用意向人数は63人となり、入学定員10人に対して、6.3倍の採用意向を確保できている。

回答数(件)	「採用したい」のみ		合計	
人数(人)				
1人(A)	3	(a)	(A) × (a)	3
2人(B)	-	(b)	(B) × (b)	-
3人(C)	-	(c)	(C) × (c)	-
4人(D)	-	(d)	(D) × (d)	-
5人以上(E)	-	(e)	(E) × (e)	-
人数は未確定(F)	5	(f)	(F) × (f)	5
無回答	-			

合計採用意向 8人

回答数(件)	「採用したい」「採用を検討する」の合計		合計	
人数(人)				
1人(A)	10	(a)	(A) × (a)	10
2人(B)	-	(b)	(B) × (b)	-
3人(C)	-	(c)	(C) × (c)	-
4人(D)	-	(d)	(D) × (d)	-
5人以上(E)	-	(e)	(E) × (e)	-
人数は未確定(F)	53	(f)	(F) × (f)	53
無回答	-			

合計採用意向 63人

以上の調査結果と、今回の調査対象以外の進路も考えられること、また、静岡社会健康医学大学院大学は主に社会人を対象とした大学院大学であり、入学生のほとんどが在職のまま入学し、修了後は所属団体等へ戻ることを想定していることから、静岡社会健康医学大学院大学の修了生の進路は十分に確保できるものとする。

調査票

**(仮称) 静岡社会健康医学大学院大学 社会健康医学研究科
社会健康医学専攻 (修士課程) の設置に係るアンケート調査**

- ・このアンケート調査は、令和3年(2021年)4月に静岡県が設置を構想している(仮称)静岡社会健康医学大学院大学(修士課程)の修了生に対する採用意向等についてお伺いし、設置計画の基礎資料とするものです。ご協力をお願いします。
- ・なお、このアンケート結果は、統計資料としてのみ用い、目的以外に利用することはありません。
- ・回答は、該当する番号を回答欄の□の中へ直接記入してください。

◆◆調査回答締め切りのおお願い◆◆

令和元年8月28日(水)までに、同封の返信用封筒にてご投函頂きますようお願いいたします。

[貴団体・貴施設・貴社 (以下、貴団体等) についてお聞きします]

問1. 貴団体等の種類について、次の中から最も該当する番号を1つだけお選びください。 【回答欄】

1. 病院 2. 診療所 3. 大学 4. 介護サービス事業所 5. 医療・介護関係団体
6. 自治体・行政機関 7. 健康保険組合 8. 企業 9. その他 ()

問2. 貴団体等の所在地についておたずねします。次の中から1つだけお選びください。

1. 静岡県賀茂地域 2. 静岡県東部地域 3. 静岡県中部地域 4. 静岡県西部地域
5. 東京都 6. 神奈川県 7. 岐阜県 8. 愛知県 9. 三重県 10. その他 ()

問3. 昨年度に大学院 (修士課程) 修了の人材を何名程度採用されましたか。
その人数について、該当する番号を1つだけお選びください。

1. 1～4名
2. 5～9名
3. 10～19名
4. 20名以上
5. 昨年度は大学院修了の人材を採用していない (過去には採用した実績がある)
6. 昨年度は大学院修了の人材を採用していない (過去にも採用した実績がない)
7. わからない
- 1～5 を選ばれた方は 問4 へお進みください。
6、7 を選ばれた方は 問5 へお進みください。
-

問4. 問3にて大学院 (修士課程) 修了の人材を採用した実績があると回答された理由をおきかせください。次の中から該当するものを第2位まで選んでください。

1. 修士の学位を保有している人材が適材と思われる仕事があるから
2. 先端的な知識・技術を身につけていることが期待できそうだから 第1理由
3. 企画・指導能力が期待できそうだから
4. 新たな分野の人材として期待できそうだから
5. 研究能力が期待できそうだから 第2理由
6. その他 (具体的に:)

問5. 今後の大学院 (修士課程) 修了の人材の採用について、どのようにお考えですか。
次の中から最もお考えに近いものを1つだけお選びください。

1. 大学院 (修士課程) 修了の人材を是非採用したい
2. 大学院 (修士課程) 修了の人材をできれば採用したい
3. 大学院修了の人材は必要ない
4. その他 (具体的に:)

⇨裏面へお進みください⇨

[(仮称) 静岡社会健康医学大学院大学 社会健康医学研究科 社会健康医学専攻 (修士課程) について]
 ※ここからは (仮称) 静岡社会健康医学大学院大学のリーフレット (概要資料) をご覧いただきご回答ください。

問 6. 貴団体等では、(仮称) 静岡社会健康医学大学院大学 社会健康医学研究科 社会健康医学専攻 (修士課程) について、どのように考えますか。次の中から 1つだけお選びください。

1. 大いに興味・関心がある
2. 興味・関心がある
3. あまり興味・関心はない
4. 全く興味・関心がない
5. わからない

1、2 を選ばれた方は問 7 へお進みください。
 3、4 を選ばれた方は問 12 へお進みください。
 5 を選ばれた方は問 8 へお進みください。

問 7. 問 6 で「大いに興味・関心がある」、「興味・関心がある」と回答された貴団体等におたずねします。それは、どのような理由からですか。次の中から 1つだけお選びください。

1. 貴団体等に必要の研究分野だから
2. 高度な専門的知識・能力を持つ人材が必要だから
3. 社会・地域において不足している分野であり、求められる分野だから
4. 疫学・医療ビッグデータ・ゲノム医学等の分野を学べるから
5. 静岡県が新しく設置する大学院 (修士課程) だから
6. その他 (具体的に: _____)

問 8. 貴団体等では、(仮称) 静岡社会健康医学大学院大学 社会健康医学研究科 社会健康医学専攻 (修士課程) の修了者の採用を考えますか。次の中から 1つだけお選びください。

1. 採用したい
2. 採用を検討する
3. 採用は考えない

1、2 を選ばれた方は問 9 へお進みください。
 3 を選ばれた方は問 12 へお進みください。

問 9. (仮称) 静岡社会健康医学大学院大学 社会健康医学研究科 社会健康医学専攻 (修士課程) の修了者を毎年何人程度採用したいと考えますか。次の中から該当する番号を 1つだけお選びください。

1. 1人 2. 2人 3. 3人 4. 4人 5. 5人 6. 人数は未確定

※番号で
 ご回答
 ください

問 10. 貴団体等では、仮に職員側から (仮称) 静岡社会健康医学大学院大学 社会健康医学研究科 社会健康医学専攻 (修士課程) で学びたい (学費は職員の自己負担として) と申し入れがあった場合、入学を勧めますか。次の中から 1つだけお選びください。

1. 積極的に勧める
2. 勧める
3. 希望する職員によっては勧める
4. 勧めない
5. わからない
6. その他 (具体的に: _____)

問 11. 貴団体等では、職員の学位取得等について支援を行う制度をお持ちですか。次の中から 1つだけお選びください。

1. 有給かつ学費等を貴団体等が負担し、業務として外部派遣等する制度がある
2. 有給ではないが、職員が望めば、退職等で籍を残したままとする制度がある
3. 働きながらであれば、学費の全額または一部を貴団体等が負担する制度がある
4. 学費の補助はないが、働きながら学びやすいように職務上の調整を行う制度がある
5. 制度としてはないが、ケースバイケースで判断し、職員の学位取得等を支援している
6. その他 (具体的に: _____)

問 12. (仮称) 静岡社会健康医学大学院大学 社会健康医学研究科 社会健康医学専攻 (修士課程) の設置計画について、ご意見、ご要望などをお聞かせください。

◆◆ 最後までご協力いただき、ありがとうございました ◆◆

静岡県健康福祉部健康福祉政策課 (担当: 田村)

〒420-8601 静岡県静岡市葵区迫手町9番6号 電話: 054-221-2404

計画概要



(仮称) 静岡社会健康医学大学院大学 社会健康医学研究科 社会健康医学専攻

修士課程

大学院大学の 概要

- **開学時期** 令和3年(2021年)4月(予定)
- **修業年限** 2年
- **入学定員** 1学年10名(予定)
- **取得学位** 修士(社会健康医学)
英訳名称 Master of Public Health (MPH)

設置構想中

住民一人ひとりが心身ともに健康で、いきいきと社会生活を送るためには、健康長寿を支える要因に関して、十分な科学的な分析が必要です。

このため、静岡県では、従来の公衆衛生学を発展させた「社会健康医学」の教育・研究に取り組み、健康寿命の延伸に資する施策に反映させることを目的に、「知と人材の拠点」として(仮称)静岡社会健康医学大学院大学を設置します。

アドミッションポリシー

次のような意欲を持った者の応募を期待

- 健康と医療、環境に対する高い関心とリサーチマインドを持っている者
- 大学院修了後も、医療・介護等の現場に戻り、リーダーとして活躍したい、又は、健康寿命の延伸に資する研究を継続したいという意欲のある者

<対象として考えられる方>

- ・ 医師、歯科医師、薬剤師、看護師、その他医療専門職
- ・ 保健師、栄養士、介護職員
- ・ 医療データの解析を行う者
- ・ 社会健康医学の研究職を目指す者 など

カリキュラムの概要

公衆衛生の5つのコア領域を基盤とした教育

- 疫学 ■ 医療統計学 ■ 環境健康科学
- 行動医学・コミュニケーション学 ■ 健康管理学・健康政策学

- 健診データや診療情報など「医療ビッグデータ」の解析手法や活用方法を修得
- 「ゲノム医学」分野のゲノムコホート研究のデザインや解析手法などを修得
- 健診・医療・介護データなど静岡県の地域資源を活用した研究指導
- コミュニケーション能力の向上を図るための教育

国際的に通用するMPHと
同等の基本的能力を養う

養成する人材像

保健・医療・福祉領域の高度医療専門職



県内外の多くの健康増進に関わる拠点で、地域医療のリーダーとなり、住民により身近な場所で科学的な知見に基づくデータ分析や健康増進施策、疾病予防対策などを担う、医師や看護師などの「医療専門職」

健康づくり実務者



保健所などにおいて社会健康医学の知見を取り入れた健康指導などを行い、住民の健康寿命の更なる延伸に資する施策を担う、保健師や栄養士などの「健康づくり実務者」

健康寿命の延伸に取り組む研究者



今までの施策の体系化や医療データの要因分析、ゲノムコホートを通じたヒト生物学研究などを継続的に進めていく役割を担う、医師や企業(製薬、CRC、SMOなど)の「研究者」

※ 上記の内容は構想中のものであり、変更となる場合があります。

大学院大学の特徴

- 豊富な研究実績を持つ教授陣による少人数の授業
- 県、市町と連携して多様な研究フィールドを展開
- 夜間や土曜も授業を開講、遠隔授業やe-ラーニングも充実させ働きながら学べる環境
- 校舎内に大学院生一人ひとりのラーニングスペースを確保

初年度学費（他の大学院含む）

大学名・研究科名		入学金（円）	授業料（円）	その他（円）	初年度学費（円）
(仮称)静岡社会健康医学大学院大学 社会健康医学研究科	県内居住者	(予定) 141,000	(予定) 535,800	-	(予定) 676,800
	県外居住者	(予定) 366,600			(予定) 902,400
神奈川県立保健福祉大学大学院 ヘルスイノベーション研究科	県内居住者	282,000	535,800	-	817,800
	県外居住者	564,000			1,099,800
東京大学大学院 医学系研究科		282,000	535,800	-	817,800
慶應義塾大学大学院 健康マネジメント研究科		-	1,610,000	70,600	1,680,600
帝京大学大学院 公衆衛生学研究科		250,000	560,000	210,000	1,020,000
聖路加国際大学大学院 公衆衛生学研究科	1年コース	400,000	1,700,000	300,000	2,400,000
	2年コース		1,200,000		1,900,000
	3年コース		800,000		1,500,000

※(仮称)静岡社会健康医学大学院大学 社会健康医学研究科の学費は予定です。

※他の大学院の学費は各大学ホームページ掲載情報に基づきます。（令和元年6月時点）

※その他、諸会費が必要な場合があります。

アクセス

<電車>

J R 東海道新幹線・東海道線
静岡駅北口よりバス約20分

<車>

国道1号静岡バイパス

「唐瀬 I.C.」から約3分

新東名高速道路

「新静岡 I.C.」から約15分

東名高速道路

「清水 I.C.」から約20分

「静岡 I.C.」から約25分



<設置場所>

静岡市葵区北安東4丁目27番2号

（静岡県立総合病院 隣接）

最寄駅：J R 静岡駅（新幹線、東海道線）

<問い合わせ先>

静岡県健康福祉部健康福祉政策課

社会健康医学推進班（静岡県庁西館3階）

TEL:054-221-2404 FAX:054-221-3264

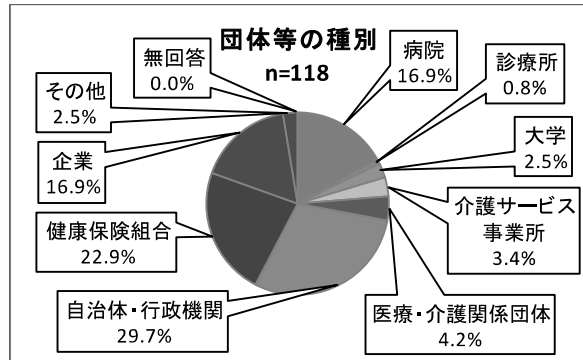
E-mail:kenfuku_kikaku@pref.shizuoka.lg.jp

※ 上記の内容は構想中のものであり、変更となる場合があります。

單純集計表

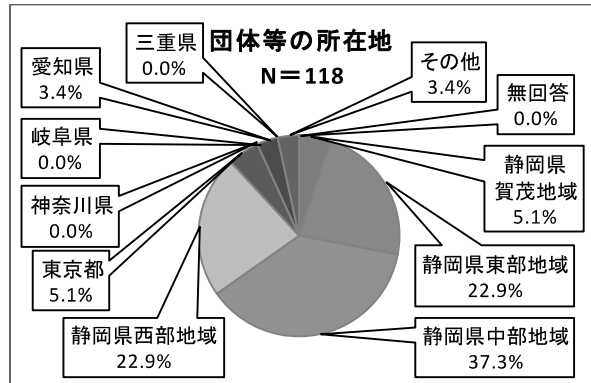
団体等の種別

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	病院	20	16.9
2	診療所	1	0.8
3	大学	3	2.5
4	介護サービス事業所	4	3.4
5	医療・介護関係団体	5	4.2
6	自治体・行政機関	35	29.7
7	健康保険組合	27	22.9
8	企業	20	16.9
9	その他	3	2.5
	無回答	0	0.0
	N (% [^] -s)	118	100



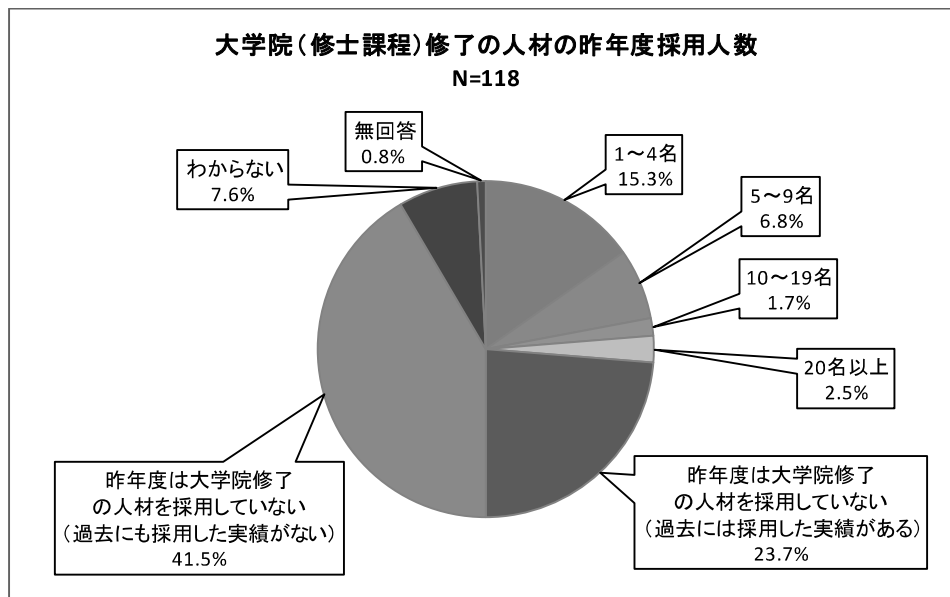
団体等の所在地

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	静岡県賀茂地域	6	5.1
2	静岡県東部地域	27	22.9
3	静岡県中部地域	44	37.3
4	静岡県西部地域	27	22.9
5	東京都	6	5.1
6	神奈川県	0	0.0
7	岐阜県	0	0.0
8	愛知県	4	3.4
9	三重県	0	0.0
10	その他	4	3.4
	無回答	0	0.0
	N (% [^] -s)	118	100



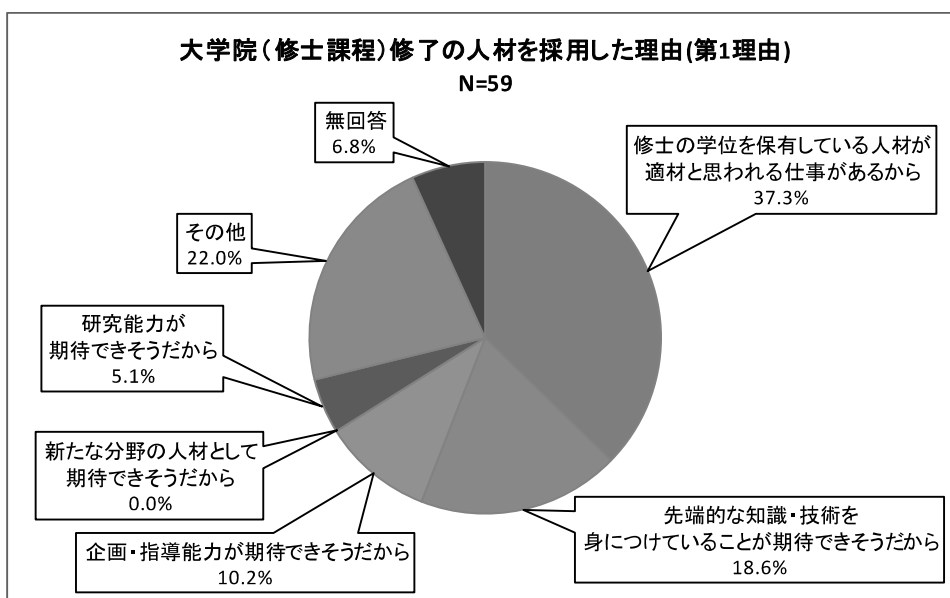
大学院（修士課程）修了の人材の昨年度採用人数

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	1～4名	18	15.3
2	5～9名	8	6.8
3	10～19名	2	1.7
4	20名以上	3	2.5
5	昨年度は大学院修了の人材を採用していない（過去には採用した実績がある）	28	23.7
6	昨年度は大学院修了の人材を採用していない（過去にも採用した実績がない）	49	41.5
7	わからない	9	7.6
	無回答	1	0.8
	N（%ベース）	118	100



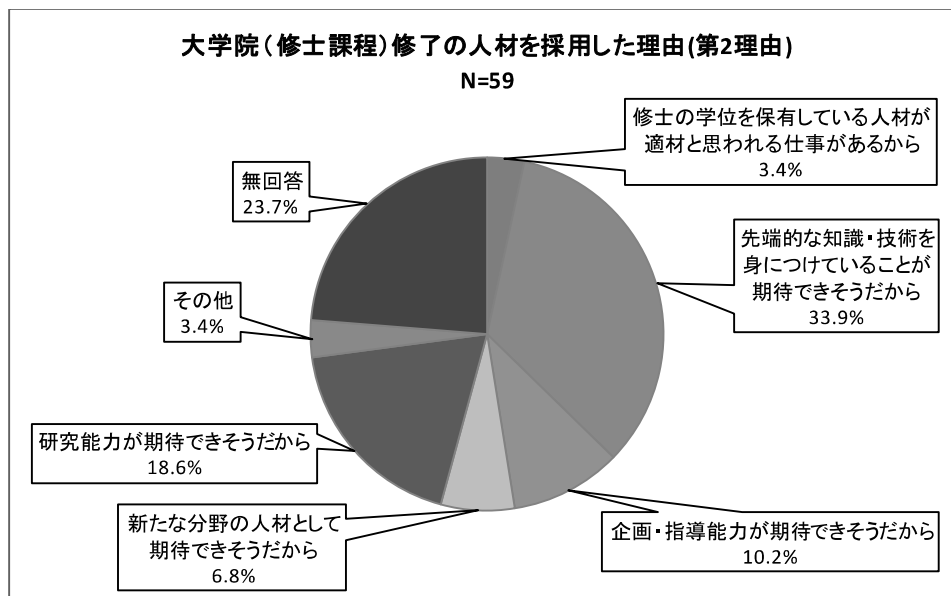
大学院（修士課程）修了の人材を採用した理由(第1理由)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	修士の学位を保有している人材が適材と思われる仕事があるから	22	37.3
2	先端的な知識・技術を身につけていることが期待できそうだから	11	18.6
3	企画・指導能力が期待できそうだから	6	10.2
4	新たな分野の人材として期待できそうだから	0	0.0
5	研究能力が期待できそうだから	3	5.1
6	その他	13	22.0
	無回答	4	6.8
	N（%ベース）	59	100



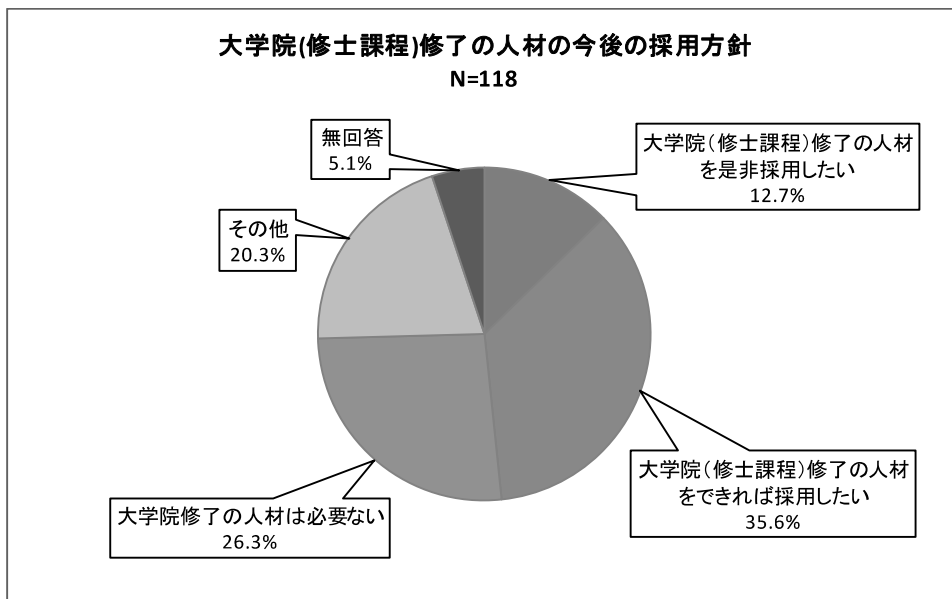
大学院（修士課程）修了の人材を採用した理由(第2理由)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	修士の学位を保有している人材が適材と思われる仕事があるから	2	3.4
2	先端的な知識・技術を身につけていることが期待できそうだから	20	33.9
3	企画・指導能力が期待できそうだから	6	10.2
4	新たな分野の人材として期待できそうだから	4	6.8
5	研究能力が期待できそうだから	11	18.6
6	その他	2	3.4
	無回答	14	23.7
	N (%ベース)	59	100



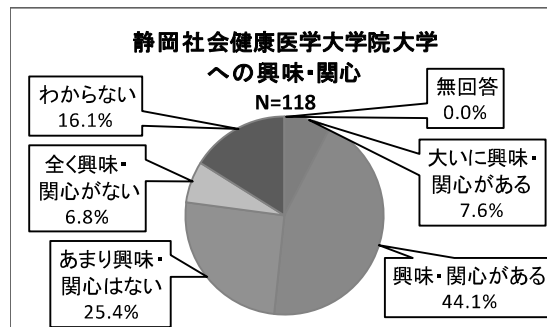
大学院(修士課程)修了の人材の今後の採用方針

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	大学院(修士課程)修了の人材を是非採用したい	15	12.7
2	大学院(修士課程)修了の人材をできれば採用したい	42	35.6
3	大学院修了の人材は必要ない	31	26.3
4	その他	24	20.3
	無回答	6	5.1
	N (%ベース)	118	100



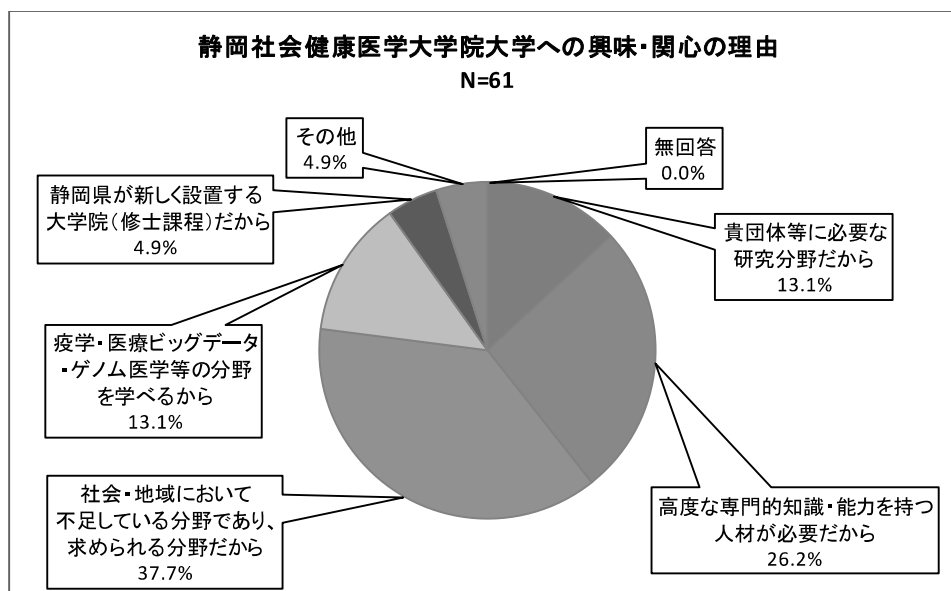
静岡社会健康医学大学院大学への興味・関心

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	大いに興味・関心がある	9	7.6
2	興味・関心がある	52	44.1
3	あまり興味・関心はない	30	25.4
4	全く興味・関心がない	8	6.8
5	わからない	19	16.1
	無回答	0	0.0
	N (% [^] -s)	118	100



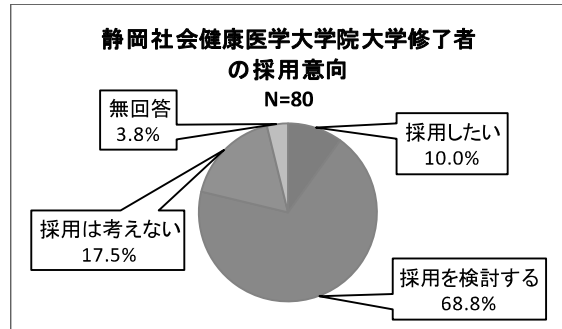
静岡社会健康医学大学院大学への興味・関心の理由

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	貴団体等に必要の研究分野だから	8	13.1
2	高度な専門的知識・能力を持つ人材が必要だから	16	26.2
3	社会・地域において不足している分野であり、求められる分野だから	23	37.7
4	疫学・医療ビッグデータ・ゲノム医学等の分野を学べるから	8	13.1
5	静岡県が新しく設置する大学院（修士課程）だから	3	4.9
6	その他	3	4.9
	無回答	0	0.0
	N (% [^] -s)	61	100



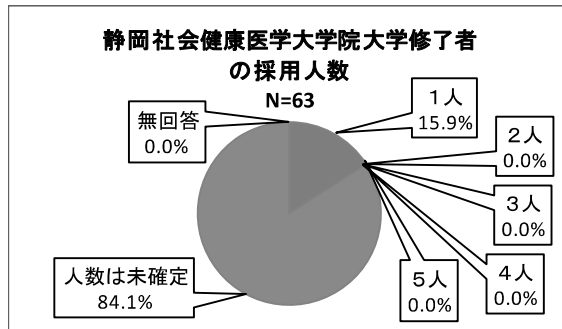
静岡社会健康医学大学院大学修了者の採用意向

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	採用したい	8	10.0
2	採用を検討する	55	68.8
3	採用は考えない	14	17.5
	無回答	3	3.8
N	(%へ-ス)	80	100



静岡社会健康医学大学院大学修了者の採用人数

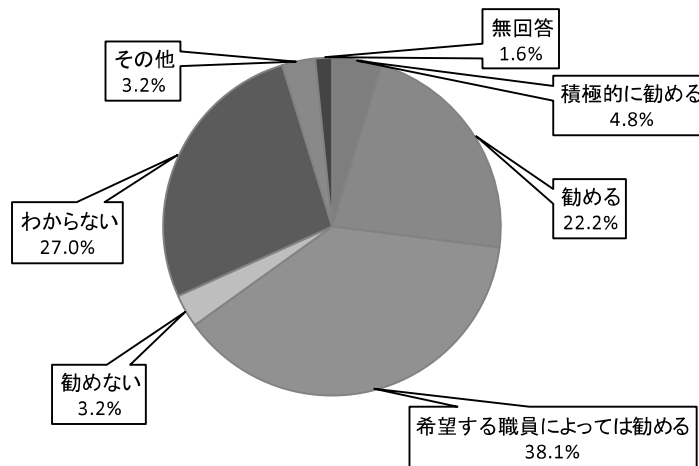
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	1人	10	15.9
2	2人	0	0.0
3	3人	0	0.0
4	4人	0	0.0
5	5人	0	0.0
6	人数は未確定	53	84.1
	無回答	0	0.0
N	(%へ-ス)	63	100



静岡社会健康医学大学院大学への職員の入学奨励

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	積極的に勧める	3	4.8
2	勧める	14	22.2
3	希望する職員によっては勧める	24	38.1
4	勧めない	2	3.2
5	わからない	17	27.0
6	その他	2	3.2
	無回答	1	1.6
	N (%ベース)	63	100

静岡社会健康医学大学院大学への職員の入学奨励
N=63



職員の学位取得等支援制度

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	有給かつ学費等を貴団体等が負担し、業務として外部派遣等する制度がある	4	6.3
2	有給ではないが、職員が望めば、休職等で籍を残したままとする制度がある	15	23.8
3	働きながらであれば、学費の全額または一部を貴団体等が負担する制度がある	2	3.2
4	学費の補助はないが、働きながら学びやすいように職務上の調整を行う制度がある	6	9.5
5	制度としてはないが、ケースバイケースで判断し、職員の学位取得等を支援している	24	38.1
6	その他	10	15.9
	無回答	2	3.2
	N (%へ-ス)	63	100

